

Kansai University Alumni Association News

關大

第578号

平成25年(2013年)11月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

平成25年度校友総会に800人集う

パナソニック(株)特別顧問 大坪文雄氏講演

第18回海外研修「タイ同窓との交歓とバンコクの旅」

総勢48人集い泰国千里会と合同交歓会

春学期の学部・大学院卒業式を挙行

GPシリーズ・スケートアメリカで町田樹が優勝

全日本大学速記大会で速記部が50連覇達成

海外支部だより 台湾OB会総会に寺内会長ら出席



11月1日～4日に開催された第36回統一学園祭

おめでとうございます—秋の叙勲・褒章

政府は、11月3日付で平成25年度秋の叙勲受章者を、2日付で褒章受章者を発表しました。それに先立ち10月12日付で危険業務従事者叙勲受章者を発表しました。

校友会事務局で確認できた関西大学関係者は次の皆さん。心から祝意を表します。

なお、調査は近畿2府4県を中心に行っていますが、万全ではなく、未掲載の受章者をこ存じの方は校友会事務局へご連絡くださいますようお願いいたします。

掲載は、氏名・卒業年学部・年齢・職業・住所の順。敬称略。

叙勲

瑞宝重光章

井垣敏生（いがき・としお）昭41学法）70歳。元大阪高裁判事。芦屋市。

瑞宝中綬章

植村 正（うえむら・ただし）79歳。名誉教授・元工学部教授。生駒市。

岡本祐次（おかもと・ゆうじ）昭42D経）75歳。元三重短期大学学長。津市。

村井 正（むらい・ただし）78歳。名誉教授・元法学部教授。神戸市。

旭日小綬章

田中昭彦（たなか・あきひ

こ）昭41学法）70歳。弁護士、元日弁連理事。和歌山市。

瑞宝小綬章

赤松達夫（あかまつ・たつお）昭39学経）72歳。元兵庫県福祉部長。兵庫県加古郡稲美町。

北吉 清（きたよし・きよし）昭35学法）79歳。元大阪府警第三方面本部長。東大阪市。

畑 喜春（はた・よしはる）昭39学法）71歳。元兵庫県阪神・淡路大震災復興本部総括部長。神戸市。

宮川善守（みやがわ・よしもり）昭41学工）72歳。元公立高校長。神戸市。

山下庸夫（やました・やすお）昭41学法）70歳。元中国財務局管財部長。神戸市。

旭日双光章

川端厚男（かわばた・あつお）昭36学経）74歳。元福知山市議会議員。福知山市。

竹内知行（たけうち・ともゆき）昭34学法）78歳。元芦屋市代表監査委員。芦屋市。

宮崎順平（みやざき・じゅんぺい）昭36学商）77歳。元大阪高圧ガス溶材協同組合理事長。大阪市。

瑞宝双光章

釜谷義一（かまや・ぎいち）昭31学法）79歳。元公立中学校長。奈良県宇陀郡御杖

村。

黒田祐司（くろだ・ゆうじ）昭40学法）75歳。元運輸省航空局監理部総務課職員管理室補佐官。豊中市。

堺 治久（さかい・はるひさ）昭44学法）70歳。元中国四国管区行政評価局第二部評価監視官。木津川市。

新開 昇（しんかい・のぼる）昭37学法）74歳。保護司。大阪市。

平岡久史（ひらおか・ひさひか）昭41学法）70歳。元和歌山行政評価事務所長。海南市。

瑞宝単光章

中野孝義（なかの・たかよし）昭34学商）77歳。淀川左岸水防事務組合水防団鷺洲水防区分団長。大阪市。

危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

白井寛治（しらい・かんじ）昭47学文）66歳。元守口市門真市消防組合消防監。守口市。

藤田英明（ふじた・ひであき）平15学経）71歳。元大阪府警部。奈良県北葛城郡河合町。

溝淵盛国（みぞぶち・もりくに）昭43学法）70歳。元警視正。香芝市。

三谷忠広（みつや・ただひ

ろ）昭43学法）71歳。元警視正。大和郡山市。

瑞宝単光章

沢田 勲（さわだ・いさお）昭41学法）72歳。元兵庫県警部補。伊丹市。

信藤福昭（しんどう・ふくあき）昭40学法）71歳。元大阪府警視。八尾市。

広沢 登（ひろさわ・のぼる）昭40学法）72歳。元兵庫県警部補。神戸市。

山崎 甫（やまさき・はじめ）昭40学法）71歳。元大阪府警部。奈良県生駒郡三郷町。

山下皓二（やました・こうじ）昭39学法）71歳。元兵庫県警部補。神戸市。

褒章

黄綬褒章

家門 潔（かもん・きよし）昭36高北陽）70歳。宏精堂家門表具店店主。宝塚市。

土井啓実（どい・ひろみ）昭42学経）69歳。元乃村工藝社副社長。茅ヶ崎市。

藤村真澄（ふじむら・ますみ）昭38学経）73歳。藤村トンボ玉工房取締役。藤井寺市。

思い出がよみがえる

ANSAI
KUグッズ
UNIVERSITY

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは

関西大学生協同組合 TEL:06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp

凜風館3F関大グッズコーナーにて販売しております



インターネットからお申込みいただけます ⇒ <http://www.kandai.ne.jp/>

関大 578号 目次

本部活動

- 2 **平成25年度校友総会に800人集う**
小坂道一氏を特別表彰、個人功労表彰は13氏
パナソニック（株）特別顧問 大坪文雄氏が講演
- 7 **第18回海外研修「タイ同窓との交歓とバンコクの旅」**
総勢48人集い泰国千里会と合同交歓会開く
- 8 **盛況だった「関大寄席2013」**

大学・学生関係

- 9 **継続が必要な東日本大震災の復興支援**
—システム理工学部准教授 倉田純一—
春学期の学部・大学院卒業式を挙行
関大防災Dayを実施、多くの地域住民も参加
第3回大阪マラソンに多くの学生と教職員参加
- 10 **G Pシリーズ・スケートアメリカで町田樹が優勝**
日本学生陸上女子200mで工藤真希が創部初の優勝
速記部が全日本大学速記大会で団体50連覇達成
- 16 **きらっ人校友録** ③ 弁護士 上原千可子さん
- 18 **校友抄 5** 関甲の卒業生 木村 昌三氏（昭23専2国）
- 21 **海外支部だより**
台湾OB会が例会の1回を総会に、寺内会長ら出席
- 24 北から南から＜各地支部だより＞
- 41 校友トピックス 校友短信 新刊紹介 訃報
- 44 会と催し



学園祭には多くの模擬店も出店

■ 関西大学校友会ホームページ

<http://www.kandai-koyukai.com/>



関西大学東体育館1階で、自衛隊の隊員たちが記念撮影をしていた。日本拳法の技術向上の為に選びぬかれた選手が、互いに技を競う技術部錬成試合に招待された人たちが、日本拳法は関西大学が発祥の地であり、昭和7年、澤山宗海（さわやま・むねおみ）氏が創設した。相撲、柔道は盛んだったが、その他の徒手格技はほとんど行われていなかった昭和初期、沖縄から唐手（からて）が伝わってきた。柔道の他に古流の当身などを模索していた澤山は、「自由に打ちあい、蹴りあう拳法を作ろう」。昭和9年、防具の製作に取りかかった。この防具の完成によって自由に打ちあう「乱」の稽古法が確立した。また、29年には関西大学で、日本拳法が正課体育として採用されることになった。▼一方、「拳法は礼に始まり、礼に終わる」。拳法は人を傷つける武器ともなりうる事から、技術の向上には精神の成長が欠かせない。澤山氏は弟子たちに「心の修行」と人を尊ぶ心から生じる「礼」の大切さを伝えた▼「私は、日本拳法の中心的部分を作っただけだ。さらに研究を重ねて、より高いものへと発展させなければならない。それは君たちの仕事だ」。澤山氏が残した日本拳法は、関西大学が生んだ運動文化として、国際的にも発展の一途をたどっている▼日本拳法の黎明期に、澤山氏の指導・稽古が行われた本学・東体育館1階は、指導書「日本拳法」に写真で掲載されており、また、澤山氏の手製パーペルの展示などは、いずれも日本拳法修行者の胸を打つ遺品となっている。試合などで本学へ来訪される方々はこそって見学に訪れる。日本拳法特有の防具稽古による技術習得の早さは、警察逮捕術や自衛隊徒手格闘術の基礎となっている。



平成25年度校友総会を開催

100周年記念会館に800人が集う

平成25年度校友総会は、10月20日（日）12時30分から千里山キャンパス・100周年記念会館で開催され、台風27号の接近にともなう雨模様の中、京阪神はもとより全国各地から約800人の校友が出席した。また、2年ぶりに台湾OB会からも出席があった。

第1部総会では、寺内俊太郎会長が挨拶の後、来賓を代表して、池内啓三理事長と楠見晴重学長が母校の近況を述べた。会務報告に続き、恒例の記念品、感謝状贈呈が行われ、総会を終了。

第2部記念講演では、パナソニック（株）特別顧問の大坪文雄氏の「会社生活4つの体験・財産」と題する講演を熱心に拝聴。その後、凜風館に会場を移して行われた懇親会では、参加者が一堂に会して歓談。応援団の演舞を楽しみ、秋の一日を母校で満喫した。



**前体育OB・OG会長 小坂道一氏を特別表彰
個人功労表彰の13氏に感謝状と記念品**

第1部総会では、草川大造・塩田貴美代両総務副部長の司会で定刻に開会。植田芳光副会長が開会の言葉を述べ、村上雄紀応援団第91代団長のリードで学歌

を斉唱。植垣幸雄元校友会長、片山久江参与・法人理事など、昨年の総会以降亡くなられた校友・大学関係者の冥福を祈って黙祷を捧げた。

平成25年期会長基本方針

1. 総力結集 「母校愛」の深い校友を軸とした全校友の更なる「校友」意識の高揚と「母校支援」を図る。

- ① 全校友数 約 40余万名
(学生会員は毎年 約6000名が増加)
- ② 支部組織数 約250団体
- ③ 会費納入者数 約 10余万人

④「母校愛」を具現化する組織の構成

- ① 代議員数 約1500名
・地域支部組織、各種団体、職域、OB会等より選出の「母校愛意識の高い校友」
- ② 常議員数：約70名 本部役員役職数：合計 30名
(会長：1名・副会長：5名・部長：6名・副部長：18名)
- ③ 校友評議員：50名/7名 ④ 校友・理事：10名/36名

平成25年期・校友会活動の指針

1. 校友・理事の「母校運営参画」意識の更なる向上
2. 校友・評議員の「諮問機関」意識の醸成
評議員会：4つの小委員会（分科会）活動の充実（具休案）
 - ① 母校財政の把握
 - ② 少子化に伴う「高大連携」等の課題
 - ③ 専門職大学院の動向
 - ④ SF入試制度について
 - ⑤ 母校の教職員給与の実情把握
3. 常議員の校友会・本部事業の充実・強化の推進
4. 代議員の地域支部活動参加・充実発展の助力
5. 校友の積極的な校友会活動への参加
6. 「母校創立130周年事業の支援」

<会長からの提言>

21世紀総合学園を目指す、母校関西大学の今後のご発展・活躍を祈念するとともに、我々40余万校友はこの国の歴史・文化を携え、且つこの国の行く末を託せる学徒の育成を期待する。その故、我々は常に母校の動静を注視し、母校の永続的な充実・発展のため、物心両面に渡って協力・援助することを惜しまない。

平成25年10月20日
校友会 会長 寺内俊太郎

来賓紹介のあと、挨拶に立つた寺内会長は、「多くの方々にご出席いただき、感謝している。懇親会では、皆さんのご意見を聞き、新たな校友会活動の一助とさせていただきたい」と前置きし、いつものようにパワーポイントを使って、「平成25年期会長基本方針」（別図）から「平成25年期校友会活動の指針」（別図）を説明。特に、校友評議員については、「諮問機関たる評議員会の活性化が、母校を発展させるためのエンジンの1

校友総会での顕彰者（順不同・敬称略）

特別表彰（1氏）

小坂 道一（昭32学2商）

組織特別顕彰（6団体）

奈良県関大倶楽部 川 西 支 部
枚 方 支 部 関西大学会計人会
司法書士関大会 関西大学天六同友会

組織顕彰（4団体）

沖縄支部 長崎支部
千葉支部 松原支部

個人功労表彰（13氏）

青木 和博（鹿児島千里会副会長＝昭47学経）
片岡 泰平（高知支部副支部長＝昭48学文）
荒田 英毅（鳥取支部前支部長＝昭41学法）
藤本 哲也（明石関大クラブ幹事長＝昭48M法）
寺辻 健治（吹田支部前副支部長＝昭37学経）
母里 充（河内長野支部相談役＝昭26学法）
田頭 巖（大阪狭山支部副支部長＝昭38学経）
小谷 俊雄（平野支部副支部長＝昭42学経）
中村潤一郎（東住吉支部前支部長＝昭45学法）
本田 勝則（此花支部副支部長＝昭41学工）
小寺 一矢（関大法書会元幹事長＝昭42M法）
田中 義久（社会保険労務士関大会会長＝昭37学2商）
藤原 利男（関西大学スポーツマンクラブ副会長＝昭44学2経）



つにならと考えている」と述べ、校友評議員の意識の高揚を訴えた。

また、母校創立130周年事業への支援については、「支援策はまだ確定していないが、記念事業として何をしても資金がいる。募金活動については絶大な協力をお願いしたい」と依頼。さらに、記念事業につ

いては、「各支部が独自の事業を企画されるかもしれない。校友会としては、まだ何も確定していないが、意見が出されたり考えられる案を取り上げてみた」として、建学の祖・児島惟謙先生の顕彰、発祥の地・願宗寺のモニュメントの設置、蜂須賀校の植樹などを紹介、「これから皆さんのご意見を聞き、母校の活動と共に、十分に達成したい」と本部の考えを語った。

続いて、この1年間の校友会の事業と、母校の主要な出来事、先生方の研究成果、学生のスポーツ・文化・学術での活躍などを紹介。「機関紙「関大」に詳しく掲載しているので、ぜ

ひ目を通していただきたい」と述べた。また、法科大学院の現状を図表で示し、「校友会としては、既に社会に出た若い法曹に対して如何に協力できるかを模索する時代にきている。母校法科大学院のあり方については、理事長・学長の強力なリーダーシップにお任せし、周りから見守っていききたい」と賛同を求めた。最後に、会長からの提言（別図）を読み上げ、挨拶を締めくくった。

来賓挨拶で、池内啓三理事長は、「全国各地で展開されている活発な校友会活動を通じて、母校関西大学に特別なご支援を賜っておりますこと、学校法人を代表してお礼申し上げます。

私からは2点、ご報告と今後の取り組みについてお話しさせていただきます。1点は、2010プロジェクトで、4年前に大学の総力を結集して取り組んだ、320億円程の先行投資を行った一大事業で、高槻ミューズキャンパスには初等部から大学院までを一挙にスタートさせた。堺

キャンパスには人間健康学部を創り、北陽キャンパスでは中学校を開校、中高6年一貫教育をやっている。評価を頂戴するのは、もう少し時間がかかると思うが、社会安全学部と人間健康学部では、4回生が就職の時期を迎え、いずれも既存の学部に劣らない成果を上げているとの報告を受けている。また、堺キャンパスには来春大学院を開設する。

2番目は、関西大学の2008～17年の10年間の長期ビジョンが、策定後5年を経過したため、時代の変化に対応して後半5年間の行動計画を再検討し、6月に改訂版を発表した。それに基づいて事業をしつかり遂行していきたい。その一環として、3年後の平成28年に創立130周年記念事業を展開したいと思

っている。学内で検討を重ね、タタキ台をまとめたので、これから校友の皆さんのご意見をその中に吸収し、教育後援会にもご意見を伺いながら、来年の4月には具

体案を発表したいと思っている。このほど、関大前、高速道路北側の土地約1000坪が購入できた。千里山キャンパスのアクセスと狭隘化を少しでも解消するよう、130周年事業の1つとして実行できないか検討を始めた」と近況を報告した。

また、楠見晴重学長は、「関西大学は今や13の学部、11大学院研究科、3専門職大学院を有する総合大学として飛躍しており、日本有数の大学としての評価を受けるようになった。

私の1期目の取り組みであったハブ大学構想は、「日本の地域と世界を結ぶハブとなる」という方向が次第に身を結び、ハブ大学は、関西大学のユニークなコンセプトとして形となってきた。その中でも地域貢献、社会連携という側面に絞って事例



を紹介したい」と述べ、先ず1月16日に協定書を締結した道頓堀商店会との連携協定事業を紹介。

「大阪に生まれ大阪に育てられた大学として、大阪文化の再生、地域社会の活性化に貢献すべく協定を締結した。既に大正期に賑わいを見せた道頓堀5座（芝居小屋）の町並みをコンピュターグラフィックスで再現し、将来の町づくりに反映させるための貴重なデータとなっている。この取り組みは、文部科学省の支援事業に選ばれた大阪都市遺産研究センターが推進するプロジェクトとして、文学部の数田寛教授を中心に歴史学、情報学、建築学の幅広い分野の教員と学生が協力、分担しつつ研究を続けている」。

また、昨年7月に若手県大槌町と結んだ連携協定では、「地域の人材を育成し、大槌町にIT関係の企業を地域住民主体で起業し、自立的な経営が可能になるまでサポートするプロジェクト」として、社会学部の与謝野有紀教授ほか多くの先生が関わっている。これは被災地との連携事業では初めての成功事例となっている」と紹介。「その他、全ての学部の方々が学生、院生と共に世界に誇る研究や教育プロジェクトを進め、大きな成果を収めている。学生たちも非

常に頑張っており、関西大学の社会的評価を飛躍的に高めている」と実績を報告した。

大東恭治総務部長が、1年間の会務を報告した後、昨春秋と今年春に叙勲・褒章を受章された校友・大学関係者が舞台上上がり、代表して、元衆議院副議長として旭日大綬章を受章の中野寛成氏に寺内会長から記念品が贈られ、参加者も大きな拍手で祝意を表した。

恒例の感謝状贈呈に移り、法人の評議員や理事、校友会の監事や代議員会議長、西宮支部長、体育OB・OG会会長など多くの団体の役員を長く務めら

れ、母校の発展に寄与・貢献された小坂道一氏を特別表彰。次いで組織顕彰を受けた後、30年以上にわたって総会を開催している奈良県関大倶楽部、川西支部、枚方支部、関西大学会計人会、司法書士関大会、関西大学天六同友会を組織特別顕彰した。続いて、10年継続して総会を開催している沖繩支部、長崎支部、千葉支部、松原支部を組織顕彰、幹部役員として12年以上にわたり組織の発展に尽力されている個人功労表彰では、13人を代表して関大法曹会元幹事長の小寺一矢氏に寺内会長から感謝状と記念品を贈った。

母校の発展に寄与・貢献された小坂道一氏を特別表彰。次いで組織顕彰を受けた後、30年以上にわたって総会を開催している奈良県関大倶楽部、川西支部、枚方支部、関西大学会計人会、司法書士関大会、関西大学天六同友会を組織特別顕彰した。続いて、10年継続して総会を開催している沖繩支部、長崎支部、千葉支部、松原支部を組織顕彰、幹部役員として12年以上にわたり組織の発展に尽力されている個人功労表彰では、13人を代表して関大法曹会元幹事長の小寺一矢氏に寺内会長から感謝状と記念品を贈った。

「逆境は己を磨く天与の機会」 大坪文雄氏の講演を熱心に拝聴

第2部記念講演では、北嶋弘一副会長の講師紹介のあと、パナソニック（株）特別顧問（前代表取締役会長）の大坪文雄氏（昭46M工）が「会社生活4つの体験・財産」と題して講演。



大坪氏は、「本年6月、会長を退任して特別顧問という肩書で、国内外での対外的な仕事を幾つかしています。また、ライフワークである物づくりを社会貢献として進めたいと思い、関西の中堅・小企業のトップの方と業界を数月前に立ち上げました」と自己紹介。パワーポイントを使って、パナソニックのアウトラインの説明から講演を始めた。

同社は、1918年に松下幸之助が「松下電気器具製作所」という名前で、アタッチメントプラグや二股ソケットなどを製造し、庶民の生活を便利にしようという思いでスタートした会社。同製品は95年を経た今も同じ形状で日本国内で販売されており、神社や仏閣の縁日の出店で使われているとのこと。

創業以来、大切にしているものに、創業者幸之助が打ち立てた経営理念があり、「産業人タルノ本分ニ徹シ 社会生活ノ改善ト向上ヲ圖リ 世界文化ノ進展ニ寄與セントコトヲ期ス」という綱領を紹介、今風に言えば「エレクトロニクス事業を通じ、社会の発展に貢献」となりますと説明し、我々は脈々と経営の基本になる考え方を受け継いでいると述べた。

本題に入り、先ず配属された録音機事業部での体験・財産R-15プロジェクト事務局（1975年）を紹介。

同事業部創立15年目で、会社のあらゆる職能の支援を受け発足したプロジェクトにスタッフとして参加。テーブルコーダーの全ての部品を内製し、一貫生産体制を構築するもので、強力なリーダーシップを発揮して会

議を進めていく上司の下、パソコンの無い時代で、電卓で様々な計算をし、3色のマジックを使って数字を書き込み、資料を作成した思い出や、急な変更には徹夜覚悟で取り組んだことなどを述べ、「大きなプロジェクトには、強力なリーダーシップを発揮しないとコンセンサスは得られない。仕事はあらゆる人が繋がって達成できることを実感した」。

続いて、オーディオ関連事業再編成で余剰化した大集団を抱えた「開発工場長（1987～88年）時代では、「世界一のプリント基盤工場」をスローガンに一致団結を図ったこと、同社



初の3班3交替職場の実現等の思い出を、「愚公山を移す」(中国戦国時代の典籍「列子」掲載)の逸話を紹介しながら語った。

3番目は、自分が設備を搬入して立ち上げたシンガポールの工場に、責任者として赴任したシンガポール出向責任者(1989〜94年)時代。日本の企業の中でグローバル化が大きなテーマの時代で、いろんな意味で海外のモデル工場になるよう努力を重ね、歴代責任者のお陰もあって実現できた。多民族多宗教の国で、グローバル化の意味を考えさせられ、問われれば「異質なものを受容する心の大きさ」と今でも答えている。

最後は、AVC社長(2002〜06年)時代。パナソニックの花形部門だが、時代はラジカセ、ビデオなどがテープからCD、DVDに移っていく中で、テープ製造工場の再建等があったが、攻めの経営で成果も上げることができた。

以上、4つの財産となる体験を語った後、「逆境は己を磨く天与の機会」という座右の銘を紹介、「苦しい時も忍耐の時も、今思ふとちよつとした期間。ちよつとした忍耐、努力をすることが、我々にとっては大変重要なことではないかと感じている。パナソニックも、今大変な苦境

に陥っているが、2018年の創業100周年に向けて必ず復活します」と講演を結び、会場は万雷の拍手に包まれた。

凧風館で懇親会開催、応援団の演舞楽しむ

渡邊泰之副会長の閉会挨拶で第2部記念講演会は終了。第3部懇親会は、総合学生会館メデアパーク・凧風館2階のバイニングホールディノア(生協食堂)に会場を移して開催された。田中義昭副会長の開宴の言葉、廣内良明教育後援会会長の乾杯の発声で懇親の輪が広がり、参加者は、応援団の演舞などを楽しみながら旧交を温めた。逍遙歌合唱のあと三木允子副会長の閉宴の挨拶で、校友総会の幕を閉じた。



校友総会トピックス!

母校に対する熱い想い

―特別表彰受賞の―

小坂道一氏

この度、小坂道一氏(昭28学2商)は、多年に亘り学校法人関西大学の理事、評議員、校友会の代議員会議長、西宮支部長など多数の役職を歴任され、母校関西大学の発展に寄与された功績で、特別表彰を受けられました。そこで、今回の受賞について感想をお伺いしました。

多数の役職の中で思い出深いのは、まず第一に、学生時代から続けてきたボクシング部のOB会長に就任した時であり、現役のボクシング部が弱く、強くすることに腐心したこと。



第二は、体育OB・OG会長

を本年3月まで、羽佐間平安前会長の後を受け、10数年させていただき、83歳の私に遠慮されて、後任がなかなか見つからなかったこと。「会長を退いた現在も、一歩下がったところから支援させていただいてあります」と強い愛着を示された。

また、現役の学生諸君に対しては、「スポーツを通して強い気持ち、正しい気持ち、協調性、他人を思いやる優しさを学び、社会人になるための人格を高めて欲しい」と激励、最後に、「子、孫三代に渡る関大一家であり、卒業後60年間、これまでも関西大学が好きであり、これからも生涯好きであり続けたい」と語っておられた。

(広報部 三木允子・北靖久)

若手の地元出身者へ

バトンを

―組織顕彰受賞の―

沖縄支部長・大坪慎治氏

校友総会で組織顕彰の表彰を受けられた沖縄支部長の大坪慎治さん(昭47学工)に取材させていただいた。

大坪さんは、大阪の出身で、41年前に仕事の関係で沖縄に移られたとのこと。沖縄支部の活



動には約25年前から参加されており、当時は支部活動への参加が12人程であったものが、現在では20数人にまで拡大され、運営されている。

現在の悩みを伺うと、「各支部とも同じでしょうが、若手会員の参加が長続きしないこと、これは沖縄特有ですが、地元出身者の支部活動への参加が少ないこと」を挙げられた。

現在80歳代になられる方が、沖縄支部の創設にあたられた後、三宅勲さん(昭39学商)、前支部長の田中順一さん(昭49学工)、そして大坪さんと活動を続けてこられたが、そもそもその下の世代から40歳代の卒業生数が少ないそう、今後の活動を通じて若手の地元出身者へのバトンタッチを考えておられるとのこと。

今後より一層のご活躍を祈

念申し上げます。

(広報部 岩崎圭祐)

『生きと熱』を 地で行く

— 個人功労表彰受賞の

母里 充氏

校友総会で、アメリカカンファレンス・トボール部の大先輩である河内長野支部相談役の母里充先輩(昭26学法)が、個人功労表彰を受けられるということで取材をさせていただいた。

母里さんは、1948年第2回甲子園ボウルで関大が日本一になった時のメンバーです。

大学卒業後も『関大熱』は変わらず！

河内長野支部でも、その立ち上げから尽力をいただいた。中でも婦人部の立ち上げ時には200人のOG名簿から一軒一軒の家庭を訪問して校友会活動に参加してくれるようお願いに回ったそうです。当時の笑い話として、「女性の名前だと思って訪問してみたら男性だった」



という逸話も語っていたいた。

最後に、今の若いOB・OGにメッセージをお願いすると、

「関大は『生きと熱』これを大切にしたい」とキツパリ！母里さんのお孫さんも関大卒業の方が一人もおられるようです。

今年88歳になられる大先輩は、今もなお青春！サミュエル・ウルマンの如く、青春とは人生のある期間を言うのではない、心の様相を言う！正に関大『生きと熱』を地で行くお元気な母里先輩でした！

(広報部 芋縄隆史)

後輩の育成に注力

— 個人功労表彰受賞の

田中義久氏

個人功労表彰受賞の田中義久さんは、昭和37年商学部(二部)の卒業生。

卒業後、会社勤めをされていたが、30年ほど前に脱サラをし、人事労務関係や健保、厚生年金等、企業の相談役である社会保険労務士になられた。



現在、社会保険労務士関大会会長の2期目(1期4年)を務めておられる。

会は、来年で15年目。田中さんは、結成時から中心となって活動され、スタート時は10人ほどだった会員が、現在は160人余りに。大阪を中心に、兵庫、奈良、京都、和歌山の近畿方面在住が多いが、年に一度の総会には東京や北陸など遠方からも参加される。

通常の活動としては、3〜4か月に一度幹事会を行い、研修会を開催。開業しても困らないようにと、実践的な内容で後輩の育成に力を注いでおられる。会の運営上気になることは、会員の拡大とのこと。新会員の居場所作りが一番苦労されるそうで、勉強会などに一人でも多く参加してもらい情報交換できるように、毎回工夫を凝らしておられるとのこと。

社会保険労務士は、先般の年金問題でクローズアップされ、やっと市民権を得た状態なので、国家資格の必要な重要な職種であることを皆さんに知ってもらえるよう、今後とも尽力していきたい、と抱負を語られた。

(広報部 中井紀子・西野京子)

関大の魂を

受け継ぐ政治家

— 旭日大綬章受章の

中野寛成氏

豊中市会議員を皮切りに、国会議員11期32年間を務め、この度、衆議院副議長として国会の円滑な運営に寄与した功績により、旭日大綬章を受章。総会出席の貴重な機会に、お話を伺いました。

議員生活の中で苦勞されたことは？

「議員として一番つらいのは落選です。私の時は途中解散がなかったで丸々4年間浪人しました(笑)」

政治家になろうと思われたきっかけは？

「小学生の頃から目指していました。生まれ故郷長崎で原爆の恐怖を知り、医者になって人々を救いたいと思いました。が、視力の問題で断念。その時父から、医者は無理でも政治家なら戦争や原爆を防ぎ、無医村にも医者と呼べると教わったからです」

関大ではどんな学生生活でしたか？

「関大で過ごし学んだ全てに大きな影響を受けました。尊敬する岩崎卯一教授が民主社会党(民主党の前身)という良い政党ができたと教えてくれました」



議会制民主主義を守りつつ福祉国家実現を目指すこの政党に、絶対入ろうと決めました」

東日本大震災の際は、国家公安委員長。たいへんな思いをされたのでは？

「25万人の警察官を激励して、苦勞を強いたわけですからね。私は、委員長就任の挨拶で『正義を権力から護れ』と述べました。児島惟謙先生の主義主張です。警察とは国家権力、正義がなければ権力は暴力だとはつきり伝えました」

まさに、関大で培われた魂で政治家として歩んで来られた人生。人助けをしたいという子どもの頃からの純粋な思いを貫かれたことに、敬意を表したいと思います。旭日大綬章受章、心よりお慶び申し上げます。

(広報部 山本淑子・

西野京子・中井紀子)

第18回海外研修「タイ同窓との交歓とバンコクの旅」

総勢48人集い泰国千里会と合同交歓会 母校の国際戦略への協力に謝意を表する

海外支部の充実発展が急速に進んでいるなか、新執行部初年度にあたり、海外研修「タイ同窓との交歓とバンコクの旅」を9月20日から3泊5日の行程で実施、27人の校友が参加した。

はもとより、母校に対する日頃の支援への感謝と、国際化への様々な諸問題とともに語らい、未来へ続く母校の隆盛をはかっているもの。

母校がバンコク市内にあるチュラロンコン大学内に「バンコクオフィス」を構えており、校友会においては泰国千里会が様々な分野で協力をいただいている。今回の目的は、親睦交流

関西空港での結団式を終えて、空路タイ・バンコクへ。現地時間の午後3時30分、スワンナプーム国際空港に到着。空港では歓迎の横断幕で迎えられ、バスに乗り込んでバンコク市内へ。バスの前方には2台の白バイが先導、渋滞をスムーズに運行するというサプライズの演出があった。宿泊先の「ル・メリディアン・バンコク」に到着し、

早速夕食は、タイの異国情緒溢れる雰囲気のレストランでタイ料理を満喫した。

2日目は、それぞれ申し込んだオプショナルツアーを楽しみ午後6時30分から泰国千里会との合同交歓会を開催した。一行27人に加えて、泰国千里会メンバー15人、現地合流の校友3人、オプショナルツアーで見学した会社「エムテック」の研究者2人、そして、大学からの来賓として国際部副部長の田村裕化学学生命工学部教授、計48人が一堂に会した。

古淵孝仁事業副部長の司会により進行。中井邦夫事業部長の開会の辞、続いて、全員で学歌を斉唱し、来賓の田村国際部副部長と泰国千里会からの参加者をそれぞれ紹介した。寺内俊太郎校友会長から母校への協力に対する感謝の言葉が述べられ、泰国千里会の中村良三会長からは10数年にわたる泰国千里会の紹介と歓迎の言葉が述べられた。また、田村先生からは、現在進めている東南アジアを中心とした大学の国際戦略が述べられ、これまでの支援へのお礼と

ともに、今後のさらなる大学との緊密な連携と協力体制の強化が要請された。

続いて、校友会本部からの記念品が寺内会長より中村会長へ贈呈され、燈田進評議員会副議長、乾杯の発声で歓談となった。各テーブルでの交流に華が咲き、途中には、母校の近況を納めたDVDなどを観覧しながら、母校のこと、仕事のこと、各世代それぞれの時代を懐古しつつ、親睦を深めた。

宴もたけなわとなり、全員で記念撮影をし、馬淵純一事業副部長のリードで、全員肩を組んで逍遙歌を合唱。最後は、泰国千里会の角田勇副会長から、国



ネット契約で保険料を節約！まずは見積りから。

自動車保険 **そんぽ24**

<http://www.union-sv.com/car>

海外旅行保険 **OFF**
損保ジャパン

<http://www.union-sv.com/travel>

関西大学生協グループ

保険事業部・オフィス事業部
総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner
株式会社 **ユニオンサービス**

info@union-sv.com <http://www.union-sv.com>

本 社 豊中市新千里北町2-20-8 TEL0120-50-5421 / 関大支店 吹田市千里山東3-10-1 関大生協内



際化へと取り組む母校に対して今後も協力を惜しまないとの力強い言葉をいただき閉宴となった。

3日目以降も、泰国千里会とのゴルフや、バンコク市内、ア



ユタや観光など、それぞれのスタイルでタイを満喫、最終日の夕食も参加者全員でタイ料理を堪能し、小雨で暑さも少し和らいだバンコクを後にした。

海外で活躍する校友との交流の大切さを実感！

泰国千里会同窓との交流パーティは、ほほ笑みの国タイといわれるに相応しく、非常に楽しいものでありました。タイ国同窓会の人々は、それぞれ立場も会社も違い、タイ国で仕事をされている方々でしたが、関西大学で培われた知識、ネットワークを活かし活躍されていました。

OB・OGが活躍されていることを知り、母校である関西大学の素晴らしさをタイでも知ることができ、深く感銘しました。食文化はもちろんのこと、タイの人々の娯楽にも短い旅行ながら貪欲に触れ、夢を抱えた若者たちの生き生きとした様や、開発途上の国独特の勢い、エネルギーなどを感じた素晴らしい旅行であつたとともに、校友会が各国で活躍される校友との交流の大切さ、その機会を与えていただいたことに感謝し、今後の更なる発展に非力ながら尽力したいとの決意を新たにしました。

(広報部副部長 森本和伸)

盛況だった「関大寄席2013」 校友落語家の熱演に笑いはじける

一昨年より校友会の事業として開催している若手校友落語家による「関大寄席」は、これまで満員の盛況をおさめているが、今年も10月12日(土)に天満天神繁昌亭で開催され、盛況だった。

この催しは、天神祭船渡御での「関大丸」の就航や天神橋筋商店街との本学社会連携活動を通じて縁の深い天満天神繁昌亭を会場に、若手校友落語家を応援するために開催しているもの。今年も本紙5月号で募集したところ、すぐに満席となり、9月号では「募集締め切りました」のお断りを掲載するほどの状況で、指定席券を持った校友や家族などが、開演の1時間ほど前から集まってきた。

午前10時、林家染太さんの司会で開会。例年どおり定式幕の前で寺内俊太郎校友会長が挨拶の後、開演した。



出演者と演題は、出演順に、林家染太(よしもとクリエイティブ・エージェンシー、平12学文)「いらち俚」、笑福亭風喬(松竹芸能、平6文入学)「二人癖」、桂三金(よしもとクリエイティブ・エージェンシー、平8学社)「天狗裁き」、桂三象(よしもとクリエイティブ・エージェンシー、昭54学文)「読書の時間(桂三枝作)」。

三味線も豊田公美子(平8学社)という、例年どおりのオール関大キャストでの公演だった。

「どんなお客さんが、まったく分からんより、

今日はやり易い。なんせオール関大やから」など、出演者は、それぞれマクラの部分で、学生時代の思い出などを面白おかしく語り、来場者の笑いを誘って本題に巧みに引き込んでいた。また、トリを務めた桂三象の出囃子三味線を関大道謡歌にアレンジするなどの演出もあり、客席を楽しませた。

終演後は、出演者が揃って出口で見送り、来場者は満たされた笑顔で繁昌亭を後にした。



継続が必要な東日本大震災の復興支援

― 3年目を終えた小学校への出張講義で想うこと ―

システム理工学部准教授 倉田 純一

「ガーツ、ゴゴゴオー」と凄まじい縦揺れに見舞われ、まだまだ小さい息子の上に被さることしかできなかった阪神大震災。身内の安否を気遣いながら、水を入れた容器を携えて瓦礫の西宮を歩いた記憶もぬぐい去ることができず、未だに地震の揺れに敏感で、テレビの地震情報にすぐ目が行

く日々である。その後、種々の体制が整備され、たとえば携帯電話からは、緊急地震速報の「ヒュン、ヒュン、ヒュン」という警戒音が出力されるようになった。

2011年3月11日、仙台市内の東北大学医学部周辺の研究施設へ、医工連携事業での動物解剖実習の見学を始めたとき、研究室内の携帯電話がそこかしこで「ヒュン、ヒュン」と鳴動し始めた。「社会人の再教育プログラムでの実習中なのに」と訝っている間に、「ゆーら、ゆーら」と横揺れが始まった。「縦揺れの後に横揺れ、横揺れが先なら直ぐに納まる」と阪神大震災の経験で高を括っていた。

しかし、これが東日本大震災の静かな幕開けであった。その後、次第に揺れ方が変化しながら、揺れは数分間続いた。ゴムボートの上に立っているような感覚であった。直後に津波による被害があったことなどは、知る由もなかった。



2009年9月より、関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学の3大学で協働して、『医工薬連環科学』教育システムの構築と社会還元―分子から社会までの人間理解―という文部科学省の教育関連の助成事業を実施している。その活動の中に、小学生の理科離れを抑止するための出張講義がある。理工系の教員としては、あまり使われない理科室や使えそうにない実験器具などを見ながら残念な思い

をしている。

津波被災地に目を向けると、通常授業が行われる地域であってもそのような状況であるのに、1階に位置することが多い理科室の設備が復旧するにはかなりの年月が必要になり、その間、理科実験は行われず、多くの小学生が理科離れをおこしてしまう。また、阪神大震災でも報告された不登校者の急増なども危惧される。「理科の楽しさを忘れず、理科の楽しさを糧に勉強を続けて欲しい」という思いで、震災後半年の石巻市を実験器具と共に訪問した。児童・生徒のPTSDなどを気にしながらも、現地の先生方のご協力もあって、順調に行うことができた。



仙台から石巻へ通う一週間の出張講義も、今年で3年目を済ませた。瓦礫は片付いたが、復興にはまだ遠い感じがする。震災後半後には、「みんな被災者」だったのだが、2年目辺りから、「被災者間格差」が目立ち始め、それに伴って不登校者の増加も懸念されている。また、事あるごとに大きな被害が報じられる地域・施設には支援が集中するが、その他はまるで忘れられたように支援が途絶えている。「あと何年先まで来てもらえるか?」と問われる校長先生方の後ろには、懸命に学ぼうとする子どもたちの輝く目がある。継続した支援の必要性を感じた。



春学期の学部・大学院卒業式を挙 行 秋学期入学式は学部4人、院11人

千里山キャンパスで9月19日、25年度春学期卒業式及び大学院学位記授与式が挙行された。

学部卒業生153人、大学院博士課程前期課程修了生18人、専門職学位課程修了生22人、博士課程後期課程修了生7人、論文博士6人に対し、学位記が授与された。

また、秋学期入学式も挙行し、総合情報学部4人、大学院文学研究科4人、東アジア文化研究科4人、外国語教育学研究科1人、理工学研究科2人が入学した。

留学生別科でも 修了式と入学式挙行

9月13日に、留学生別科春学期修了式が挙行され、8人が進学コースを修了し、国際部長から修了証書が授与され、これからの飛躍を誓い新たな世界へと飛び立った。

また、9月21日には秋学期入学式が挙行され、様々な国・地域から66人の学生が入学した。式では、楠見学長が式辞を述べ、入学生総代が宣誓した。



入学生たちは互いに親睦を深めていた。



関大防災Dayを実施 多くの地域住民も参加

10月17日に千里山・高槻・堺キャンパスで、「関大防災Day 2013」が広がれ！みんなの安全・安心！が実施された。

地震避難訓練では、授業中にマグニチュード7・6の上町断層直下型地震が発生したと想定し、学生・教職員約1万人の避難から避難誘導、避難者の安否確認などが行われた。

今年で4回目を迎えたこの催しでは、日本赤十字社による防災講演会や、防災にかかわるさまざまなイベント・体験、さらに近隣連合自治会と共に、炊出し訓練を行い、学生・教職員、多くの地域住民が「防災」や「災害時の安全・安心づくり」への関心を高めた。



八幡市、UR都市機構と まちづくり連携協定締結

関西大学と八幡市、UR都市機構は、10月25日に「住みたい・住み続けたい、男山」を指して相互に連携・協力するため、「男山地域まちづくり連携協定書」を締結した。

この協定の締結は、京都府「まちの課題・チーム解決事業（まちの仕事人）」の支援を受けて実現したため、当日は京都府の立ち会いのもと、協定書締結式が執り行われた。

八幡市と男山団地の所有・管理者であるUR都市機構は、本学の「集合住宅」団地の再編（再生・更新）手法に関する技術開発研究における男山地域・男山団地の再生に関する提案を踏まえ、本学と一緒に同地域のまちづくりに取り組んでいく。

今後の取り組みとして、男山



団地中央センターの空店舗を関大が賃借し、コミュニティ活動拠点「だんだんテラス」として運営。また、本学のデザインアドバイスによる子育て世帯向け賃貸住宅リフォームなど、子育て支援の取り組みをスタートする。

第3回大阪マラソンに 多くの学生と教職員参加

関西大学が協賛する「第3回大阪マラソン」OSAKA MARATHON 2013が、10月27日に開催され、沿道には約125万人が詰めかけ、秋空の下、約3万人のランナーに大きな声援が送られた。

第1回から協賛団体として大会運営に協力する関大からは、20人のランナー、約420人の給水ボランティア、24人のチャリティー募金ボランティア、16人の語学対応ボランティアなど



多くの学生と教職員が参加。コースの沿道では「ランナー盛上げ隊！」として、応援団をはじめ学生団体による応援イベントが行われるなど、各所で学生たちが活躍した。

また、大会直前の10月25日と26日にインテックス大阪で開催された「大阪マラソンマスコット2013」では、人間健康学部河端隆志教授と同研究室の学生たちが「インターバル速歩」を体験できるブースを出展。ブースには多くの来場者が列をつくり、学生たちは、マラソン本番や日常生活での健康管理に役立つ情報を提供した。

なお、本学は、大阪マラソン組織委員会の依頼を受け、ランナー、ボランティア、一般の人約15万人を対象に、読売新聞大阪本社とマラソンに関する共同



調査研究を行っている。

チエルノブイリ立入禁止 区域管理庁副長官が来学

10月28日、プロスコラ・ミコラ氏（ウクライナチエルノブイリ立入禁止区域管理庁副長官）が、千里山キャンパスの化学生命工学部機能材料研究室を訪問した。

ミコラ氏は、セシウム等の放射性物質の処理に関する観点から、同研究室の研究テーマの1つである「低級鉱物物質からの高品質バイオ金属の製造に関する研究」（担当・西本明生准教授）について興味をもち、国際原子力機関（IAEA）の国際会議に出席した後、本学を訪れたもの。

当日は、西本准教授と赤松勝



也名誉教授の指導を受けながら、実際に学内から採取した自然状態の土壌を用いて実験を行い、実験の間、ミコラ氏は、試料調査の割合や物質等について熱心に質問、終了後は完成したサンプルの提供を受け、本学技術のウクライナでの活用への期待を語っていた。

田尻外国語学部教授が 大槌町で出張模擬講義

10月から社会的信頼システム創生センター（STEP）では、本学学生によるICT（多地点コミュニケーションシステム）を使った遠隔地への学習支援事業を開始したが、その先駆けとして9月19日・20日の両日に、岩手県立大槌高校と大槌町立大槌中学校で、外国語学部の田尻悟郎教授による出張模擬講義を行った。

本学と岩手県上閉伊郡大槌町



は、2012年7月に同町の自律的復興支援を目的とした連携協定を締結しており、STEPでは同町への支援活動を通じて、被災の影響による急激な過疎化と、それにとまなう進学率低下という課題を抱えていることを発見。対策として今回の事業を行うことになった。

当日は、キャリアデザインや学習の方法などについての講義が行われ、参加した学生は真剣な面持ちで講義を受けていた。

SF入試（9月募集） 112人が合格

2014年度SF入試（9月募集）の合格者が10月24日に発表され、体育35種目に112人が合格した。

昨年に比べ、種目では6種目増えているが、合格者数では17人減少している。人数の多い種目は陸上競技の10人が最高で、アメリカンフットボールとサッカーが9人、硬式野球7人、ラグビー6人など。

また、学部別では、人間健康学部35人、文学部と商学部が13人、社会学部12人、法学部11人、総合情報学部10人など。外国語学部と理工系3学部は0人だった。

なお、SF入試は若干名の1月募集もある。

KUBIC2013に 応募件数が1340件

今年で8回目となる関西大学ビジネスプラン・コンペティション「KUBIC2013」の本選会が、10月5日に千里山キャンパスで開催された。

当日は、合計1340件の応募の中から、本選出場を果たした計10組（高校の部5組、大学の部5組）の発表者による熱のこもったプレゼンテーションが行われた。

高校の部では、京都府立京都すばる高校3年の太田真直美さんによる「自宅で簡単“出会い”に勉強“らくらく”就学ビジネス」が優勝、大学の部では、中京大学総合政策学部チーム「CZの牧絵梨香さん他計4人による「ユメックル寝れない悩みをひんやり解決」が優勝を果たした。



無料関大みんなの傘 関大パンセが設置

9月20日から、無料の貸傘サービス「関大みんなの傘」Kandai Shared Umbrellaがスタートし、千里山キャンパス、高槻キャンパス、高槻ミューズキャンパス、堺キャンパスの各所および阪急関大前駅改札付近に貸し出し用の傘が設置された。

これは、学校法人関西大学が100%出資する(株)関大パンセが、関大生へのサービス向上や地域貢献の一環として実施

するもので、傘をシェアすることを通じて、人と人とのつながりを感じ、お互いが思いやりの心を持ったコミュニケーションを形成する一助になることを期待している。



GPシリーズ・スケートアメリカ

町田樹が優勝、高橋大輔は4位に

10月18・19日にアメリカ・デ

に更新して優勝した。

トロイト市ジョー・ルイス・アリーナで行われたISUグランプリ(GP)シリーズ2013・スケートアメリカ男子シングルで、アイススケート部の町田樹(文4)が自己ベストを大幅

に更新して優勝した。ショートプログラム(SP)で91・18の自己ベストを出し、首位に立った町田は、フリーでも2度の4回転トゥールプを決めて自己ベストを30点近く更新する174・20点をマークした。



前哨戦で織田が優勝 自己ベストを記録

合計得点の265・38点は世界歴代5位の高得点だった。町田のGPシリーズの優勝は、昨年の中国杯に次いで2回目。五輪シーズンの今季の目標として「自分らしい最高のパフォーマンスを。そしてその先の大きな目標へ」を掲げている町田は、この優勝で五輪代表の有力候補に名乗りを上げた。

なお、同じ大会に出場していた高橋大輔(M2文)は、236・21点で4位だった。

ISUグランプリシリーズの前哨戦となるフィギュアスケートのネーベルホルントロフィー2013が、9月25・28日にドイツ・オーバースドルフで行われ、男子シングルでアイススケート部の織田信成(M2文)が262・98点の自己ベストで優勝した。

また、10月25・27日にカナダ・セントジョン市ハーバー・ステーションで行われた201



3 GPシリーズ・スケートカナダ男子シングルでは、4回転が

3回転になるなどのミスで銅メダルだった。

日本学生陸上女子200mで優勝 工藤真希が創部以来初の快挙達成

9月6・8日に東京国立競技場で行われた天皇賜盃第82回日本学生陸上競技対校選手権大会女子200mで、陸上競技部の工藤真希(文4)が、自己ベスト記録を更新する23秒94で優勝を飾った。女子200mの優勝は創部初の快挙。



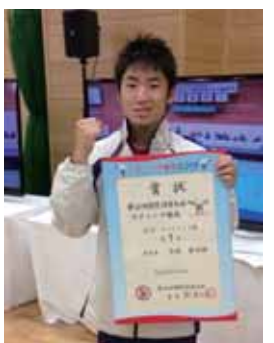
ヨット部の後藤と岡崎 470級で創部初の優勝

9月20・23日に愛知県蒲郡市海陽ヨットハーバーで行われた第22回全日本学生女子ヨット選



ボクシング部の寺地も 国体で創部初の優勝

10月4・8日に東京都・日野市市民の森ふれあいホールで行われた第68回国民体育大会のボ



手権大会国際470クラスで、ヨット部の後藤沙織(文4)と岡崎文音(システム理工4)のペアが優勝した。同大会で、国際470クラスでの優勝は創部初の快挙。

クシング競技成年男子ライトフライ級で、奈良県代表で出場したボクシング部の寺地拳四朗（人4）が優勝した。創部初の快挙だった。

体育会各部の選手が 国体で優勝の活躍

第68回国体の空手道競技で、空手道部の清水希容（文2）が、成年女子個人形の部で優勝した。

また、馬術競技成年男子トッブスコア競技で、馬術部の山田晃嗣（政策3）が優勝を飾った。

なぎなた競技成年女子試合の部では、なぎなた部の岡村菜奈（文3）と林田智笑（人1）が



大阪府代表で優勝した。試合の部は3人制の団体戦。

更に、水泳（競泳）競技成年女子200mリレーでは、水上競技部の吾郷みさき（人3）が大阪府の第1泳者として出場。チームは見事優勝を飾った。

日本拳法女子個人で 三木が優勝、鈴木3位

9月15日に大阪府中央体育館で行われた第26回全・日本拳法女子個人選手権大会成年の部で、拳法部の三木千宙（社3）が優勝し、鈴木侑帆（商4）が3位に入賞した。



▲写真右が三木

重量挙部の尾崎都加 都道府県対抗で優勝

9月21、22日に金沢市いしかわ総合スポーツセンターで行われた第3回全国都道府県対抗女子ウエイトリフティング選手権大会の69kg級で、重量挙部の尾



崎都加（文4）が優勝した。また、75kg級の柏木悠里（人3）と58kg級の柴田里穂（商2）が、それぞれ3位に入賞した。

軟式野球同好会4連覇 関西六大学リーグ戦で

軟式野球同好会が、関西六大学軟式野球秋季リーグ戦で優勝を飾り、昨年度の春季リーグ、秋季リーグ、今年度の春季リーグに続く4季連続の関西制覇を成し遂げた。

これにより、同会は2年連続で西日本大学軟式野球選手権大会への出場権を獲得した。

日本拳法発祥の関大で 技術部錬成試合を開催

10月13日に日本拳法発祥の地・関西大学で第5回技術部錬成試合が開催された。

高校・大学・自衛隊をはじめとした社会人の精鋭選手による



錬成試合では、脚部サポーター着装を認める等、限定競技規則のもと女子2分間、男子3分間・本数勝負で日本拳法の熱戦が繰り広げられた。

試合結果は、【男子】優勝

佐土原拓也・自衛隊第一普通科連隊、準優勝 谷和希・関西学院大学、3位 谷古竜也・自衛隊第一普通科連隊、

【女子】優勝 松岡里帆子・同志社大学、準優勝 渡邊茉莉佳・関西大学、3位 榊田真実・同志社大学OGとなった。

（森本和伸）

速記部が団体50連覇 全日本大学速記大会で

10月20日に関西大学で開催された第104回全日本大学速記競技大会で、速記部が優勝し、団体50連覇を達成した。

「飛鳥光の回廊」で 学生がボランティア

9月14日、奈良県明日香村で開催された「飛鳥光の回廊」で、本学学生がボランティア活動を行った。

このボランティア活動は、2006年に本学と明日香村で締結した地域連携協定に伴う事業の一環として、2011年から実施しているもので、今年度は「五感で感じる飛鳥」をコンセプトに、灯籠を見て明日香の歴史を感じてもらふことはもちろん、音、香りなどを使って、その時代時代にタイムスリップしたかのように五感で楽しんでもらうことを心がけた。灯籠は、昨年度に引き続き、学生たちがデザインし約2500個を並べた。担当地区は、石舞台古墳及び島庄道路で、地元村民と協力して集会所の前に行灯を置き「願い“彩る大行燈”と名付け、地元住民や観光客にそれぞれの願いを和紙で行燈に貼って貰った。

参加した学生からは、「地元の方や学部学年が違った学生と関わることができて楽しかった」「明日香村散策では明日香の歴史について学ぶことができたなどの感想があり、地元民からも「若い力は村そして人を元気にする。今後も一緒に取り組みたい」という要望が寄せられた。



落語大学ふくい寄席 4つの福祉施設で開催

9月11日と12日に文化会落語大学が、福井県内の4つの福祉施設で落語会「落語大学ふくい寄席」を開催した。

笑いは、からだ・こころの健康づくりに大きな影響を持つと考えられており、福井県では笑いを県民の健康づくりに活用しようと平成19年度から「笑い与健康」推進事業に取り組んで

前田がコピーのラジオ CMが最優秀賞を受賞

25年日本民間放送連盟賞ラジオCM第1種（20秒以内）部門で、前田奈美（社3）がCMコピーを手掛け、エフエム大阪が制作したラジオCMが最優秀賞を受賞した。

日本民間放送連盟ウェブサイトによると、審査員からは「学生たちに広がる可能性と、それを後押ししたいという大学の



いる。

関西大学と福井県は平成19年から「関大ふくい笑い講」を共催。笑いの文化や笑いを活かしたコミュニケーションを伝える講義などを開催しており、この連携の一環として、学生が福井県からの要望に応じて落語会を開催したもので、学生たちの軽快な語り口に、どの会場も笑いで包まれていた。

大学生観光まちづくり 商学部チームが特別賞

観光庁・文部科学省などが後援する「大学生観光まちづくりコンテスト」西日本ステージの本選会が、9月18日に大阪府咲洲庁舎で開催され、予選を通過したチームによるプレゼンテーション審査が行われた。

結果、石崎和希（商4）がリーダーを務める「京都すばるOB」チームが、パフォーマンス特別賞を受賞した。

「京都すばるOB」チームは、「圧縮した観光」をテーマに、泉佐野市の遊休施設や空き地にテナントを誘致する観光村の設置を提案する「泉佐野市観光村構想計画」を発表。「本当に伝えたい思いを心から伝えることを心がけた」という当日のプレゼンテーションが評価された。

「スポーツ関係の写真は、関大スポーツ編集局」提供

【訂正】前号（第577号）掲載の「陸上部OG3人が活躍、東アジア大会に出場へ」の記事で、左端写真が伊藤愛里とは違う別人でした。お詫びし、訂正します。

思い「がさわやかに表現されている。現役の関大生が書いた等身大のCMコピーが、大学のイメージアップに大いに貢献している」と評価された。

一般入試・センター利用入試の願書を校友の皆様に無料でお届けします！

2014年度 一般入試					
日程	試験日	学 部	試験地		
学部個別日程	2/1(土)	文・経済・社会・政策創造・総合情報学部	①②		
	2/2(日)	文・システム理工・環境都市工・化学生命工学部			
	2/3(月)	法・経済・商・外国語・人間健康学部			
	2/4(火)	法・文・商・総合情報・社会安全学部			
	2/5(水)	システム理工・環境都市工・化学生命工学部			
	2/6(木)	社会・政策創造・外国語・人間健康・社会安全学部			
全学部日程	2/7(金)	全学部	①②③		
	2/8(土)	法・文・経済・商・社会・政策創造・外国語・人間健康・総合情報・社会安全学部			
	3/3(月)	法・文・経済・商・社会・政策創造・外国語・人間健康・総合情報・社会安全学部			①
	3/4(火)	総合情報・社会安全・システム理工・環境都市工・化学生命工学部			

●学部個別日程 2013年12/24(火)～2014年1/17(金)
●全学部日程 2013年12/24(火)～2014年1/27(月)
●後期日程 2014年2/1(土)～2/20(木) インターネット 2/1(土)～2/21(金) 12時

※郵送による出願の場合、締切日当日の消印有効となります。インターネット出願は、データ登録期間と入学検定料納入期間で時間が異なりますので、必ず入学試験要項をご確認ください。

2014年度 センター利用入試			
種別	個別学力検査実施日	学部	試験地
センター前期	2/7(金)	商学部以外の全学部	①②③
センター中期	2/8(土)	全学部	
センター後期	2/8(土)	商・社会学部以外の全学部	—

●センター前期 2013年12/24(火)～2014年1/17(金)
●センター中期 2013年12/24(火)～2014年1/27(月)
●センター後期 2014年2/1(土)～2/25(火)

全国28都府県に試験地を設ける ①大阪・東京・金沢・名古屋・岡山・広島・高松・福岡 ②浜松・京都・神戸・松山 ③札幌・仙台・新潟・富山・福井・津・滋賀・松江・山口・徳島・高知・小倉・熊本・鹿児島

一部の学部で入学定員の増加に伴い、募集人員を変更(増加)!

2013年6月18日付で文部科学大臣より収容定員変更の認可を受け、「外国語学部」「人間健康学部」「社会安全学部」の入学定員を増やします。これに伴い、一部の学部で「一般入試」および「センター利用入試」の募集人員が変更(増加)になりました。

理工系3学部で「理科設問選択方式(2科目型)」を新設!

2月2日(日)の学部個別日程で、従来の「理科1科目選択方式」に加え、「理科設問選択方式(2科目型)」を新設します。

校友の皆様には、無料で「一般入試・センター利用入試要項(願書)」をお届けいたします。

ご家族やお知り合いでご希望の方がおられましたらお役立てください。官製はがき又はFAXにてお届け先の住所・氏名を明記のうえ、下記までご請求ください。なお、年末年始はお届けに若干日数がかかることがありますので、ご請求はお早めにお願ひいたします。また、本学へお越しいただいた方に無料でお渡ししています。

はがき 〒564 8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学 入試広報グループ 関大願書請求「校友」係 FAX 06-6368-0903

入学試験に関するお問い合わせ
関西大学 入試センター 入試広報グループ
〒564 8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1121(大代表)
<http://www.kansai-u.ac.jp/nyusi/>

関西大学

テーマは「Jump out! 関彩大!!」 第36回統一学園祭に多数の来場者

第36回統一学園祭が、千里山キャンパスで11月1日から4日まで開催され、他大学生や高校生、地域住民など多数の来場者で賑わった。

統一学園祭は、各学部やサークルの代表機関が「全学統一」の基本理念に基づいて、「全学交流の場」「文化創造の場」「日常自主自治活動集約発展の場」の3つの理念を結集軸に結集し、開催している。



今年度のテーマは、「Jump out! 関彩大!!」。このテーマには「Jump out!! 関大の枠を飛び越えた地域との交流を深め、今までの統一学園祭を超える、また「関彩大」に色に例えた関大生一人ひとりの個性や、各学部の特色を取り入れた彩りのある企画、という想いが込められている。

初日には、悠久の庭の中央ス



テージで、午前10時からオープニングセレモニーが実施され、4日までの間、ライブや講演会、模擬店の出店をはじめ、学生によるさまざまなイベントが行われた。

また、ごみ的大幅削減のため、模擬店ごとに用意していた紙容器などを、リサイクル可能な「エコトレイ」にする取り組みは、昨年度に引き続き、今年度も統一学園祭全日程で行われた。

なお、後夜祭では、関西大 学創立130周年記念事業のキャッチコピーとシンボルマークの入選作の発表と表彰式も行われた（詳細は次号に掲載）。



まわり基金と 校友録

Kandai Kiratto Part 37

ひ まわり基金法律事務所とは、弁護士が少ない地域に住む人たちが、法の助けを得られず不利益を強いられることのないよう、北は北海道から南は沖縄まで述べ一〇カ所以上に、弁護士会や地元との協力を得て設置されている法律事務所です。小浜ひまわり基金法律事務所もその一つで二〇〇五年に開設され、上原さんは三代目にして初の女性所長。吹田市議の秘書を務めながら司法試験を受け、二度目で合格。現在に至るまでの経緯や小浜での奮闘ぶり、また、今後の目標について語っていただきました。

将来のビジョンを明確にした 市議秘書としての経験

高 校は大阪市内の女子高だった上原さん。学校でちょうどしたハプニングが起ります。「そのとき先生に反省文を書きなさいって言われたんです。そもそも女子高が肌に合わなかったこともありましたが、反省文に『私は校則を正しく理解していなかったので、こういうことになりました。だから私は法学部に行きます』って書きました。こんなふうに昔から理屈っぽいところはありましたね」と笑います。

そして、関大の法学部を受験。入学後に所属したのは討論会サークル「千里山法律学会」でした。「大学生になったんだし、少しは勉強っぽいこともしなきゃね」なんていう単純な動機でした。でも、憧れの先輩に褒めてもらいたくて、論旨の勉強は結構頑張りましたよ」。この「千里山法律学会」



国大会で関大は見事三位に入賞。このとき論者を務めたのが上原さんでした。大会後の懇親会の席で審査員を務めていた現役の検察官から「とても良かった。期待してるよ」と激励を受けたことに感動し、それまでは司法試験を受けることは考えていなかったそうですが、関大の法科大学院を受験することを決めたといいます。

法科大学院は関大の二校狙いで見事合格。上原さんは二年コースを経て二〇〇九年の三月に修了します。このとき、後に吹田市議となる神谷宗幣氏と同期修了でした。「神谷さんは三年コースでしたが、二年コースの私と修了年が同じだったんです。彼は司法試験を受けずに政治の世界に行くことと決意したようでした。選挙に出るから手伝ってくれないかと言われて、応援する気持ちで手伝い始めたんです」。

三月に修了し、四月から秘書として神谷氏の選挙

は今年八〇周年を迎える伝統あるサークルです。法律のテーマに基づきどう解決するか論じ、それに対する指摘に対し、いかに理路整然と答えるかを競い合います。三回生のときに出場した全

活動をサポートし始めた上原さんですが、司法試験は五月。「選挙には勝ちましたけど、司法試験には落ちました。十分に勉強もできないまま焦って受けて、焦って落ちたような感じでした」。その後、次の司法試験に向けて一直線かと思いきや、「手伝い始めたら政治の世界って凄く面白かったんです。弁護士は法律の網の目から漏れた人を助ける側ですが、政治家はその網の目自体を作る側なんですね。ですから、常に考え方が前向きというか。そこが政治の面白さところでした」と神谷氏の秘書として共に飛び回ることに。しかし、市議の秘書として駆け回る生活は、意外にも受験一色の生活よりも上原さんにとっては大きな学びがあったようです。「一般企業の社長などにもお会いして話を聞く機会が結構ありました。そこではよく『君は司法試験に受かったら、どうしたいんだ?』と聞かれたんです。当時の私は司法試験に受かることが目標だったので、合格後のことは何も考えてなかったんです。それからですね、視点が変わって自分が何をしたいのか前向きに考えるようになりました」。

岩手の若手弁護士の熱弁が、 ひまわり基金との出会いに

上 原さんは神谷市議の秘書を務めながら受験勉強に励みました。さまざまな人達に出会い、刺激を受けつつ、社会における自分の立ち位置についても考え始めます。ひまわり基金法律事務所のことを知ったのはそんな矢先でした。「神谷さんのお手伝いを通じて、この小浜の事務所に来たこともありました。また、岩手の初代ひまわり基金の弁護士の講演を聞く機会もあったんです。その人は当時、二十七、八歳位の若手弁護士でしたが、事務所設立のことからお話をしてくれました。その中で『弁護士がいなのは、法律がないことと同じなんです』とおっしゃったことが印象に残りました。私もこんな弁護士を目指したいという思いが膨らみました」と語

弁護士としての視点から 法律の網の目を変えていきたい

上原 千可子さん

プロフィール

上原千可子（つえはら ちかこ）さん
弁護士。小浜ひまわり基金法律事務所所長。二〇〇五年、関西大学法学部卒業。二〇〇七年、関西大学法科大学院修士、法務博士取得。二〇〇八年、司法試験に合格、同年十一月司法研修所に入所。翌二〇〇九年、大阪弁護士会弁護士登録、大阪パブリック法律事務所に入所。そこでの経験をベースに二〇一一年、福井弁護士会に登録し、現在の小浜ひまわり基金法律事務所所長として就任。趣味は海外旅行や茶道など。



▲ウズベキスタンのモスク（上原さん撮影）

年三カ月に終止符を打ちます。そして、二〇一一年五月、小浜ひまわり基金法律事務所所長に就任しました。「これまでの一番の挫折は一回目の司法試験に落ちたときですね。その後は難関だった大阪パブリック法律事務所に入り、希望したこの小浜に来ることができ

ります。若手弁護士の熱い思いと奮闘ぶりに心を打たれた上原さんは、法律家としての自分の姿をより鮮明にイメージしていくことに。「目標がハッキリしたせいか、次の試験ではいけるんじゃないかと思いました」と言った通り、二度目の司法試験で合格します。上原さんは少しでも早く一人前になって世間を渡り歩けるようになりたい、そうなるには、たくさんの実践を積んで独り立ちできるこのひまわり基金の制度がぴったりだと考えるようになります。目標を決めると、大阪パブリック法律事務所に入所し、さまざまなケースを担当しながら実践を積んでいきました。すると今度は、小浜のひまわり基金事務所が次期の所長を募集するという情報をキャッチ。当時の上司に行きたいという意思を伝え了解を得て、大阪パブリック法律事務所での一

求められるのは地域特性の認識と 専門化しない柔軟なスタンス

若

狭湾エリアに一つの法律事務所の弁護士として、上原さんはこの広い地域を一人で担っています。

「何が大変かと言うと都会のように扱う内容が専門化していないことですね。私は事務所に色をつけず、断らないスタンスでやっていますので、さまざまな案件が舞い込みます。お金の相談から離婚や不倫問題、

した。見方や考え方、将来のビジョンが明確になつてから全てがスムーズに回り始めたように思います」。次なる上原さんの目標は、弁護士としての視点を持ちながら代議士の政策秘書として、制度の歪みの解消をサポートすることだとか。「弁護士には、根本から解決しない限り、その場の対処だけでは変わっていく社会のしくみが見えます。網の目を細かくしないと漏れ落ちる人がたくさんいる現在。根本を変えるための現場の視点を持つている弁護士が、制度の歪みを解消し、少しでも網の目を細かくできるよう貢献したいです」。



▲千里山法律学会サークル（3回生のとき）

交通事故、損害賠償、債務整理、医療過誤、遺産分割、刑事事件…また、漁業法や農地法、原子力発電所など地域特性を理解していないと解決が困難なものも多数ありますので、それが大変ですね」。特に地域特性を認識するという感覚が最初のころは欠けていたと当時を振り返ります。

また、「声をあげないと都会と同様の権利が保障されないことが地方にはあるんです。その一方、私の一言が法律になる可能性もあるわけです。例えば、私が請求できないと言えはできないことになってしまふ。そういう点ではとても慎重になります」と法律家としての責任の重さを感じています。電話で怒鳴られ、事務所ではいわれもなく怒られることもあるそう。しかし、話をよく傾聴し、整理して道筋を示すと依頼者の顔がバツと安堵の表情に変わる瞬間をよく実感するそうです。「弁護士は人生の岐路に立ちあう仕事です。実際に、法律がどうこうということより、自分の言い分を聞いて欲しい方も大勢いらつしゃいます。『あなたに相談して良かった』と言ってもらったときは嬉しいですね」。小浜での日々の業務を積み重ねながら、上原さんの次なる目標やビジョンはさらに前進していくのでしょうか。



▲奈良で月1度のお稽古

好友抄

五

木村 昌三氏

一高・一中創立一〇〇周年に寄せて

関甲生・数少ない生き残りとして！



専門部時代の木村氏

は、その前身校である「関西甲種商業学校」創立より、100周年の慶賀の年であり真に欣快にたえない。そこで、現在「関甲俱樂部」で同窓会長を務められ、ご自身「一中・一高」で教鞭を執られた

木村昌三先生に取材をお願いした。木村先生は「関甲生の数少ない生き残り…」を自負され、その心境を「旧遊零落半帰泉・（親しい友人知己も大半は黄泉の人となった）白居易」と記されている。従って敢えてこの言葉を表題とさせて頂いた次第である。

昭和2年4月9日大阪市北区菅原町にて、父昌（銀行員）、母シウ、5人兄弟の長男として出生。吹田市在住86歳 関甲俱樂部会長

同15年4月関西甲種商業学校入学・同20年3月卒業（30期生）

同20年4月関西大学専門部 部文学科国語漢文専攻科入学・同23年3月卒業
同23年4月関西大学第一中学校国語科教諭就任

同32年関西大学第一高等学校教諭兼務

平成6年3月同校定年退職（講師を含む）

2013年が、関西大学第一中学校・第一高等学校

入・昭和27年附属を省く）

同23年関西大学附属第一高等学校開校（関甲生が編入・昭和27年附属を省く）

同24年3月関甲最後の卒業生34名（35期）卒業生総数は5,049名。

同28年天六学舎より千里山に校舎移転、現在に至る。

木村先生に話を戻す。出生地の菅原町は、天神祭所縁の大川が、中之島公園端から土佐堀川、堂島川に分水する北側地点に現在も在る。

昭和15年4月、関西甲種商業学校入学。菅南尋常小学校から7名が受験し、合格者は昌三少年1名だった。受験理由は、父上勤務の銀行に関大出身者が勤めていた。

上級学校での知識の大切さ。商都大阪では、簿記・会計・算盤などが必要。学校立地も自宅からさほど遠くないなどを挙げられた。

天六学舎は当時、専門部、

関甲、2商（第2商業学校）共通の校舎でもあった。鉄筋コンクリート4階建、正面に時計台があり、南向きと西向きに校舎が建っている。あの壮絶な戦災を免れ、平成の現在も姿がほとんど変わっていないのが嬉しい。願がわくば母校では数少ない歴史的建造物として何時までも遺して欲しいものである。

自宅からの登校は、徒歩40分程であつた。制服の上着は黒小倉（注1）の5つボタン、夏は霜降り（注2）で、襟には学年とクラス章、帽子は丸帽白線1本、編み上げ靴にゲートル（注3）を巻いての通学姿。3学年までは時間割通りの授業だった。音楽部に所属、全関西中等学校ハーモニカ合奏コンクールが中之島公



昭和19年頃、予科練の帰省の友を囲んで（前列左から2人目）

会堂で開催された時には、20数名編成でもって「詩人と農夫」「軍艦マーチ」等を演奏されている。また、夏の浜甲子園での水泳、映画鑑賞、弁論大会、千里山グラウンドでの運動会と、この頃までは戦争の緊迫感はさほど伺えない。4学年（昭和19年）になると一変した。英語の授業が減り、教練の時間が増えた。銃剣術は人を刺し殺す練習である。「進め！」「突け！」走っては突き、突いては走る。行軍もしんどかったとのこと。腰に短剣、肩に三八式銃を担ぎ、「歩調をとれ！」の号令、4列縦隊になり、足は高く大地を踏みしめての行進。全員で軍歌「歩兵の本領・1・萬朶（まだ）」の桜か襟の色花は吉野に風吹く 大和男子（おのこ）と生まれなば 散兵綫の花と散れ 2・尺餘の銃は武器ならず 寸餘の剣何かせん 知らずや茲に二千年鍛え鍛えし武士魂（やまとだま）（10番まであり、たけぎものふの心を詠った歌）を歌い長柄橋河川敷へ行軍。また予科練や海兵航空兵に、志願した友を囲み大阪駅前広場で、関甲校歌を歌い見送ることと度々だった。戦時体制になり、徴兵が18歳に引き下げ



昭和22年、専門部音楽部として大学祭に参加（中央）

られる、「明日は我が身か」。勤労奉仕に八尾飛行場での土砂運びは2人1組で、もっこ（注4）を担ぐ重労働だ。それ故に、「授業が待ち遠しくみんな熱心に聴き入っていた」という。5年生（昭和19年）になると北加賀谷の造船所に行き、戦艦の鉄板の裁断、運搬、鋸打ちの作業のなかに、連合国の捕虜が監視の下に働かされていたことを記憶されている。そんな中でも「滅私奉公」と皆が勝利を信じて働いた。

昭和20年4月、関甲卒業後の進路は、父上希望の法科関係ではなく教員の道を目指され、関大専門部二部文学科国語漢文科に進まれた。アルバイトで銀行の臨時雇い、市清掃事務や、代用教員（注5）試験に合格され、学童疎

開学校などにいかれた。その折の出来事である。6月1日、大阪大空襲でのごと。「焼夷弾（注6）」が雨あられと降ってきた。「西島小学校」で校長とプールに浸かり、「ご真影（注7）」を守るが、校舎は焼け落ち、避難してきた多くの住民も亡くなった。西島から鉄かぶとを被り、ずぶ濡れのまま西天満の自宅を目指された。途中、車や市電は燃え崩れ、架線は垂れ下がった。福島西通を過ぎた辺りも黒焦げの死体ごろごろしている。辺り一面焦げの臭いである。ただただ我が家の無事を祈って歩を進める。天神さんは健在だった。我が家は「やられた！」しばし呆然。家族は？万一を考え、用意していた千里山の間借りの家まで更に歩く。長柄橋を渡るのが恐ろしく、柴島の浄水場もひどい状態。朝から飲まず食わず。夏至近い日がとつぷり暮れたころ、家族が落ち合い命のあったのを喜びあわれた。時に木村青年、専門部1学年18歳だった。（此花区西島から天満橋そして千里山までは、地図にスケールを置くと直線で14〜5km）資料によると、この日の空襲では、B29等が458機、計8波に互り

飛来し大阪を無差別焦土化したとある。

木村先生は「生き地獄だった。尊い人命はもちろん、先祖からの多くのものを無くしてしまつた」と凶々（まがまが）しい実体験を赤裸々に記された。

8月15日終戦、「國破れて山河あり」の世情は、国債は紙切れ・預金封鎖・新円切り替え。町には浮浪者があふれ、闇市がいたる所に立っていた。

何か月かして、被災を免れた天六学舎で講義が始まつた。ノートや鉛筆はない。先生方は国民服や軍服である。皆一心に聴き入っている。忘れえぬ恩師は「吉永登（万葉集）・金子又兵衛（源氏物語）・山脇毅（堤中納言物語）・藤沢黄坡（論語）・石浜純太郎（孟子）」と、なお多くの先生を記されたが、不意に愛させて頂いた。但し事務職で田中課長（田中治良太夫氏・元熊野神社宮司）の名が観える。木村先生に何うと、「何時も学生に對し大変親身に対処してくれた素晴らしい方でした」のでとのこと。

部出身の由井靖彦君（43法）に田中課長のことを尋ねると「治良太夫さんには色々世話になつたと。彼も記憶していた。その後も長く、部学生課長として、多くの学生を親身に世話された方であつた。実は田中氏は数年前に亡くなられたが、田中氏の息子さん田中孝雄君（熊野神社宮司・43一高）は、小生の一高・大学応援団の後輩にあたるという学縁がついている。さて、木村家は被災、お父上は定年、故に新制学部への道を諦められ教職への道を選ばれた。

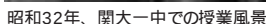
卒業成績は食堂（地下）の壁に掲示された。氏名の上に赤く優と表示がある、これで中学校・高等女学校などに教員として試験検定でもって合格出来ると安堵された。23年3月卒業後ややあつて、第一中学校の三島律夫教頭より一中の国語科に推挙される。4月より一中3学年A組を担任された。新米の教師ではあるが、教室も自分が先月まで関甲生として学ばれて



昭和24年、関大一中第1回卒業生の3年A組卒業写真（中央左）

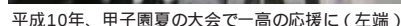
いたということもあり、生徒たちとは余り気を使うことなく兄弟のように接したと述懐された。なるほど、関甲も専門部も新制一中、一高も当時は同じ天六学舎で学んでいたのだから。

関西大学におけるこの新制中学・高校設立についてはこんなことがあつた。実は大学では、一高以外に第二高校・第三高校を将来立ち上げる構想を描いておられた。これは一高・一中事務局の小宮久雄氏（53社）提供の史料に載っていた。昭和21年・文部省は小学校6年、中学校3年、



た。つた。これまで、多くの方から「第一高等学校」があつてなぜ「第二」がないのかと尋ねられることが度々だったが、小生はじめ誰しもが答えようがなかった。この当時大学では、いずれ「第二」「第三」の中学・高校を創設する希望を抱いておられたが、いつしか、大学関係者が代替わりするとともに、忘れ去られてしまったのではないかと。しかし、今日（平成25年）、併設学校は、「第一高校」「北陽高校」「高槻高等部」の3校となつて、67年前の岩崎学長構想が実現していたことを付け加えたい。

木村先生は、戦争中に関甲で学ばれ、戦後の厳しい時は専門部に在籍され、新学制制度の混乱期に母校の教員となられた稀有の体験者である。木村先生に関しては、橋本欣一君（38高）が、一中時代に国語を教えてもらつていた。先生のことを尋ねると、授業では優しく教えていただいた。なかでもよく覚えていることは、「文字を四角の枠に収まるように書く」と格好がとれ、見栄えがよい。彼は今も、改まった文章のときには何時も思い出ししていると語ってくれた。



木村先生は退職後、地区公民館長や文学講座講師を長年にわたり務められ、平成23年吹田市文化功労者表彰を受けられている。家庭では子供さんやお孫さんにも恵まれ、その多くが一中、一高、関大卒という関大ファミリーであり、ご本人は通算53年間関大に通われていた。ここに先生の更なる「長寿をお祈りし筆を擱くこととする。

末尾に関甲出身生で、各界で印象深い方の名を記るされていたので、ここに5名の方を紹介する。

丸尾長顕氏（2期生） 演
出家
三島律夫氏（4期生） 母
校元校長
西村治三郎氏（7期生）

[illegible]

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質＆マナー」・「環境」・「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp

台湾OB会、例会の1回を総会に 台中・高雄在住の校友との交流も

日本関西大学台湾OB会（李銘坤会長）は、基本的に2ヶ月に1回の例会を開催しているが、本部との親睦交流をさらに深化させていくため、年間6回の例会のうち1回を総会とし、本部からの出席を求めるとともに、台北のみならず台中や高雄などの地域の校友との交流を踏まえた訪問事業を行うことを協議決定し、その初回となる本年6月14日から3泊4日の日程で、台中での懇親会と台北での総会を訪問することとなった。訪問団は、寺内俊太郎校友会長（夫妻、中井邦夫事業部長、奥田恵造事務局課長の4人。



総会に寺内会長らが出席 台中在住校友とも交歓

一行は、6月14日に桃園国際空港で台湾OB会の李銘坤会長と待ち合わせ、台湾高速鉄道に乗り、早速に台中へ移動。台中駅では、廖天煜氏、唐幼華氏、唐景良氏の出迎えを受けた。懇親会の開会まで少し時間があつたため、宿泊ホテルの喫茶店で歓談。特に唐景良氏の学生時代から就職、そして社会人生活に至るまでの経験談を拝聴したが、その苦労は我々日本人とは違う過酷なものであり、感慨深いものがあつた。

懇親会は、ナショナルホテル3階の「全壽楼」で、訪問団4名と李会長、そして台中からは11人、さらに、母校が提携して

いる静宜大学に交換留学生として学ぶ7人の本学学生が参加した。

台中OBのなかには、静宜大学で教鞭をとる伊伏啓子氏や学校で日本語講師をされている半浦稔氏など日本人卒業生もおられ、また、昨年度の台湾留学生会の会長であつた林佩吟氏の顔もあつた。静宜大学で国際事務顧問として本学との提携に携われた曾煥棋先生から歓迎の挨拶をいただき、寺内会長から校友会としてはじめての台中訪問の感激の言葉を述べ、校友会から記念品の贈呈を行った。

各テーブルでは、学生たちも交えて賑やかに歓談が進み、楽しく充実した懇親会となった。最後は学歌を全員で合唱、台中で懐かしい歌声が響いた。続いての2次会には、交換留学生も全員が参加し、普段は寮からあまり街中に出出することもないことから、この時ばかりはと大



いに楽しんでいる様子であつた。また、台湾OBと習得した北京語を巧みに使い会話を楽しんでいた。

彼らとの話で感激したことがあつた。彼らは寮生活をしているが、勉強に日常生活に隅々にわたり台湾の学生が面倒を見てくれていることで、感謝の気持ちが絶えないという。そして、自身が帰国した際には、関大で学ぶ台湾留学生に、お返しに今度はこちらがお世話をしたいのだという。彼らに感銘を受けるとともに、是非とも帰国後、それを実践するよう期待するところである。

2日目には、再び出迎えたのだいた3人の校友の案内により、

鹿港天后宮などを観光し、唐氏が経営する会社、昌一汽車股份有限公司（BMW総代理経銷商）を見学させていただいた。また、唐景良氏の趣味を遙かに超えて、外国人選手からもオファーがくるほど、その世界では有名となられた自転車の製造、整備、塗装技術の一端も見せていただき、それら作品に一同驚愕するばかりであつた。有名レストラン「黒公鶏」で昼食をこ馳走になり、台中駅まで送っていただき、再び高速鉄道に乗って台北へ移動し、台北OB会総会へ出席となった。

台湾OB会総会は、「大三元酒樓」で、台湾OB会から16人の参加を得て開催。冒頭に李会





長から、今回の経緯について説明を兼ねて挨拶。続いて寺内会長から、この度の訪問と日頃の母校への惜しみない愛情と協力に感謝の言葉が述べられ、寺内会長から李会長に記念品の贈呈が行われ、会場は拍手に包まれた。



参加者のなかには、留学生第1号である林子欽氏の顔もあり、また、かつて台北OB会として、在台日本人校友をまとめてこられた阪本誓史氏や、玄奘大学で教鞭をとられる池田辰彰氏、昨年に大学院を卒業されたばかりの吉本沙矢佳氏ら日本人卒業生も参加されており、台中での懇親会同様に、国籍を越えて幅広い親睦交流を深められている。乾杯後は酒を酌み交わしながら語らい、途中にはカラオケ大会となり、日本や台湾の歌謡曲を唄い合い、楽しくそして充実した時間を過ごした。続いての2次会も大いに盛り上がり、時間も忘れて絆を確かめ合った。

3日目には、李会長と許正宗氏の案内で、宜蘭にある蘭陽博物館や亀島などを観光させていただき、夕食には、前日の総会に参加できなかった3人の校友との歓談、最終日には、有名な「鼎泰豊」で、馬鴻文氏の計らいにより、通常は予約して待つところを待たずして入店し、小籠包などを堪能した。桃園空港へは、再び李会長の車で送っていただき、名残惜しくも再会を誓い、日本への帰路についた。

(事務局 奥田恵造)

台湾OB会の集まり 重要で楽しい時間に

帰国後、台湾玄奘大学で教鞭



をとられている池田辰彰氏から便りをいただいた。併せて紹介する。



2008年秋から3年間、関西大学文学研究科博士課程に在学し、2012年8月から台湾の新竹市にある玄奘大学応用外国語学科に勤務しています。

関西大学台湾OB会に初めて

参加したのは今年(2013年)の5月でした。やや緊張した面持ちで会場に行きましたが、台湾OB会の李会長や許先輩、顔先輩など、皆さんとても友好的に声をかけてくださり、終始楽しい時間をすごすことができました。

それから、2ヶ月に1度の例会だけでなく、公用で、またプライベートで台湾にお見えになる大学役員や事務職員の方、先生方とも台湾OB会を通して親しく知り合うことができ、私にとって台湾OB会の集まりは、とても重要で楽しい大切な時間となっています。

留学生として関大で青春時代を過ごされた先輩方の異国での経験談は、今、故国をはなれて外国の地で生活している私にとって貴重な教えとなっています。いつでもどこでも、関大の名の下に集いあい、友好を深め合える。これからもこの会を通して母校との絆を深めていければ幸いです。(平23D文 池田辰彰)

支部旗の前で今後の 活動方針などを検討

広東関大会(是澤秀樹会長)は、第3回会合を8月31日午後6時から広州市珠江新城の日本料理店・希望(のぞみ)で開催し、是澤会長、森口晴雄、前博幸、東口和文の4人が出席し

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型箸(上)謹製

和洋菓子司

株式会社 昌月堂

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号

電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)

FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550

代表取締役 山本雅己(S53学1法卒)

厚生大臣賞
日本食品衛生協会賞



まず、会場に支部旗を掲揚、



その前で今後の活動方針等について話し合った。

中で、9月7日に開催される「広州・学校対抗ゴルフ大会」には、是澤会長、東口と上海関大会から副島さん、天津から岡本さんに参加いただき「関西大学」として単独出場する。次回（第4回）の会合は、10月に順徳で開催する。

また、会員募集計画については、学校対抗ゴルフ大会で関学、同志社、立命OBとの良好な関係を構築し、関大OBの紹介を依頼する、引き続き各種紙媒体に広告掲載する、の2点を決めた。

（東口和文）
higashiguchi.kazu-fumi@takenaka.cn

学校対抗ゴルフ大会に 関西大学として初出場

広東関大会は、9月7日に暇日半島ゴルフクラブで開催された「第8回広州・学校対抗ゴルフ大会」に、関西大学単独チームとして初めて出場した。

この大会は年1回開催され、各学校とも母校の旗を校友以外の前で掲げることのできる数少ない機会となっており、今年の参加者は94人だった。

この春に産声をあげた広東関大会は、この大会に単独出場することにより、名前を売って知名度アップを図り、会員募集に



弾みをつけようと、会合の都度話し合ってきた。

単独出場の条件となる4人の出場者確保は、当初の予想以上に苦慮したが、今回は上海関大会等の絶大な支援を得て団体戦への出場を果たし、校友会の強い絆に感激するとともに、会場で「広東関大会」の旗を掲げることができた。関学大チームは大会直前に1人が不参加となったため、単独参加が果たせず、大変悔しい思いをされていた。成績は、13チーム中、何と最下位であった。しかし、下位から順に発表されたため、最初に壇上に上がったことを吉事として、今後の精進の糧とする。

また、大会前日には岡本さんと交え、希望（のぞみ）で前夜祭を、大会後は副島さんを交

え、広州長崎屋で後夜祭を盛大に挙行することもできた。

（東口和文）

前回上回る11人が参集 話尽きず3次会まで懇親

香港千里会では、9月6日に懇親会を開催、初参加の5人を含む11人が結集した。

本会は、組織の立て直しのため、香港各広報誌の連絡先を修正して参加を呼びかけたところ、校友が徐々に集まり、現在は30人弱となっている。今年8月5日には久しぶりの懇親会を開催し、女性3人を含む9人の参加を得て親睦を深めた。

今回は、男性ばかりの参加となったが、北京ダックで有名なチームの「鹿鳴春」で舌鼓を打ち、



千里キャンパスに青春を思いめぐらすというよりも、関大前の「コビー」屋さんに試験前に駆け込んだ共通の思い出を懐かしみ、香港・深址でのお互いのビジネスも語り合った。

しかし、話は尽きず、懇親会は近くのバーにて2次会、さらに茶餐廳で3次会まで続いた。

写真は、前列左から中野、渡邊、新井、西村、長谷川、後列左から松本、白杉、水田、中村、玄島の各氏（山下撮影）。

今回は、11月29日（金）に開催します。万障すり合わせの上、ご参加いただけますよう、よろしく願っています。

（幹事・山下謙一）
（山下謙一） hksenrikai@gmail.com

関西大学と復旦大学の ゼミ生も参加し定例会

上海関大会（横田和彦会長）では、奇数月の第2水曜日に開催している定例会を、9月は11日に午後7時から音楽之声大酒店で開催した。

今回は、母校商学部・岩本ゼミの一行9人、岩本ゼミと共同ゼミをされている復旦大学・張先生の一行の皆さんと上海関大会メンバーの計28人が参加した。時間が立つのも忘れ、10時過ぎまでワイワイガヤガヤと楽しいひと時を過ごすことができた。

今回参加できなかった方も、次回（奇数月の第2水曜）11月13日のご参加を、よろしく願います。（幹事 山本震一）
（山本震一） yamamotos@shys-trading.com



北から 南から 《各地支部だより》

「強い関大」の報告に勇気を貰う

1人でも多くの入会を各支部で促進

北海道支部（松本陽一支部長）25年度総会は9月28日、札幌グランドホテルに北海道在住の校友25人が集まり開催された。

来賓として校友会から田中義昭副会長、大学から楠見晴重学長、教育後援会の森本靖一郎常任顧問、他6人のそうそうたる皆さまに出席いただいた。

毎年のことだが、母校より一番遠くにある支部として、本学

の活動状況をつぶさに拝聴できる機会を得られることは、出席した校友に大いなる勇気と励ましをいただくことになった。

冒頭の松本支部長に引き続

き、前記のお三方にそれぞれ挨拶を頂いた。その中で、「強い関大」は分かるが、「強い女子が現れた」や「女子学生が年々多くなっている」とか「近畿地区では6割の女子高生が関大受験を希望している」などをお聞きしていると、一昔前の関大はどこに行ったのか、女子大学になるのではなからうか、など、嬉しいやら心配やら複雑な思いで拝聴した。中でも嬉しかったことは、少子化が進む中で、今年度の受験生が前年より6千人も増えたことをお聞きすると、関係諸氏のご努力が実って、ますます強い関大になりつつあることを確信できたことだった。

総会議事では、道内に在住しているOBの皆様を一人でも多く支部に入会していただくこと

を

変革を進めている初年度で各支部より報告があった。

ゴルフ部会の増井千代一部会長は、「26年度は関西7大学OB会ゴルフコンペの幹事校になっているので、会員を増やし優勝を狙う」と力強く宣言された。

パークゴルフ部会の大坊健二部会長は、「高齢者が愛好するスポーツなので、そこにスポットを当て、倍増の20人の会員の入会を図る」と述べた。下地章二新幹事長からは、各支部とも活発な活動を奨励し、毎月1回は何らかの会で集まることを目標にと激励を飛ばされた。石橋孝彦事務局長からは、会計報告があった。

例年通り、総会を進めながらの懇親会ですから、議事が一時中断しながらも和気藹々の内に所定の時間があっという間に過ぎ去り、逍遙歌斉唱により幕を閉じた。（広報担当 大坊健二）（松本陽一＝011-778-6760）

初参加・最年長者が挨拶
楽しく校友の輪ひろがる

広島支部（並川嘉男支部長）では、8月31日に25年度総会を広島メルパルクで開催した。

当日は台風上陸により朝から雨模様の天候だったが、総会開催前後から天候は回復し、校友の力の結集で晴れ間も見えてき

た。

総会には、本部から寺内会長と加藤学生支援部長、近隣の山口千里会、岡山支部、福岡千里会、そして関西学院大学校友会広島支部からの来賓11人を迎え、会員43人と合わせて総勢54人の参加をいただいた。

総会議事では、24年度の事業報告、決算報告及び監査報告、25年度の事業計画、予算案、役員改選案が提示され、会員の熱心な討議を経て、原案通り承認された。

総会後は、引き続き懇親会を開催、寺内会長他来賓の方々の祝辞を頂き、和気藹藹と校友の輪をひろげた。初参加者の挨拶、最年長者の挨拶、そして御土産の配布等、楽しく有意義な時間を過ごした。

最後に、森澤副支部長の口上で逍遙歌を歌い上げ、青春時代に回帰したような時間を過ごし、



次回開催での再会を約して解散した。（副支部長 佐久間信）（重谷里志＝090-8144-8149）

千葉ビール園で乾杯！
10人参加し秋の懇親会

千葉支部（神田万久支部長・昭45工）では、秋の懇親会を10月5日、サッポロビール千葉工場（船橋市）内の千葉ビール園で、昭和39年卒から平成6年卒まで10人の校友が参加して行った。

残念ながら工場見学は満杯のため叶わなかったが、食べ放題、飲み放題、3種類のジンギスカンに舌鼓、造りたてのビールを存分に楽しんだ。池田光夫（昭39法）先輩の乾杯に始まり、千里で過ごした昔ばなしに花が咲き、「若い頃ならこの何倍も食べられたのに」とこぼしながらも箸はどんどん進み、アツとい



う間の楽しい2時間だった。

(広報 豊田稔・昭45工)

(神田万久「047-354-2091」)

山歩きの会で入笠山へ 高層湿原は色とりどり

神奈川支部(重延義樹支部長)の同好会・山歩きの会は6月22日に第5回「長野県・入笠山(にゅうかさやま)登山」を開催した。

入笠山は南アルプスの北端に位置し、標高1955mで日本三百名山の一つに数えられる。この時期は、標高1780mの高所までゴンドラが運んでくれる。

今回は、初参加1人に加え、総勢8人での山歩きとなった。天気は曇りだったが空が明るく、所によっては青空がのぞいて、山歩きとしては悪くない条件と思えた。

駅前で軽く柔軟体操をして出発。鹿の侵入を防ぐ扉を開け、入笠湿原へ向かう。大勢の登山者が狭い歩道で渋滞している。まず、100万本といわれる小さなニホンスズランの白が目に飛び込んできた。仲間から高層湿原の妖艶さに感嘆の声が上がった。

レンゲツツジの橙色を抜けて登山口へ向かう。登山道自体は短い、結構な急登に岩場もある。



り、隊列が乱れた。山頂は混雑していた。記念撮影も順番待ち。360度の眺望は最高。雲間から見える百名山は22座のうち10にも満たなかったが、曇り空ではそれくらいで満足しなければいけない。

下山中、入笠湿原に戻る前に立ち寄ったゲレンデ跡の高山植物群生地の鑑賞を終えたあたりから雲行きが怪しくなり、やがて本降りになった。泥川に変身した歩道の急斜面を無言で登る。ゴンドラに乗った直後、雨が止んだ。

富士見パノラマリゾートで、スズラン祭のプレゼント、「白花コアヤメ」の苗をもらい、ゆうとろん水神の湯へ向かう。露天風呂で一日の疲れをとり、軽く食事をしてから帰途へついた。

(代表世話役 小谷正廣・昭47商) (ダイケイ「050-1063-9660」)

小型バスで白川郷へ 「次は海外もいいね」

愛知支部(森田敏二三支部長)旅クラブは、「一緒に旅をして校友の輪を拡げていこう」という趣旨で発足した。

1回目の伊勢旅行に続いて2回目の旅は、10月5日に小型バスをチャーターして白川郷まで出かけた。

当日の天気予報は午後から雨とのことだったが、日頃行い善き人たちが14人のためか、終日雨は降らず、また暑からずの天気で合掌造りの村を散策できた。

「次は海外もいいね」と世話人(事務局長 市橋正之・昭56商、組織委員長 塗木桂子・昭41文)は張切っている。

(塗木桂子) (知多工業・森田敏二三「0562-33-5822」)



三重大生がよさこい演舞 参加者も踊りの輪の中に

10月27日に三重中勢支部(岡本祐次支部長)の総会をブラザ洞津で開催した。本部から渡邊副会長はじめ愛知、三重北勢、南勢、名張の各支部から来賓の出席をいただき、校友は33人が参加した。

総会では、岡本支部長(42D経)の挨拶後、来賓を代表し、渡邊副会長から母校の近況等が報告された。その後、議案の審議が行われ、原案どおり承認された。

また、参加校友の桜井亀山市長から市政の2期目に当たっての近況報告と、来賓として参加された名張支部前田幹事から11月30日、12月1日に名張市で開催予定の「国際・食彩・文化



良縁お世話致します

婚活(結婚活動)は、早ければ早いほど有利です!

関大生割引あり

一度お電話ください。

ブライダル ナカノ

TEL 06-6702-8624

ホームページでも詳しく紹介しています。

ブライダルナカノ

●関西大学卒業生(商87)中野友美子

経済産業大臣認定個人情報保護団体
結婚相談業サポート協会会員

血糖299が2カ月で94に!ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に!

資料無料送付

えんししょう 燕 子 掌

180粒 18,900円(税込)

糖尿110番 検索

糖尿病に燕子掌

ヘモグロビンA1C値の改善にお役立て下さい。

「お薬、食事、運動など今まで何を試しても下がらなかったA1C値...。今回、やっと下げるモノが見つかりました!」と、多くの方にお喜び戴いている特許新成分です。

▼この漢方・燕子掌の詳細資料・改善データを無料でお送りいたします。

特許番号第5535674号
0120(090)358
ヘルスケア研究所

祭」の紹介、さらに、浜口副支部長から天満天神繁昌亭で行われた「第3回関大寄席」と、中勢支部ゴルフマッチ「関関戦」の模様についての報告があった。

懇親会は会場を移し、横山副支部長の乾杯で開宴、和やかな雰囲気の中で世代を超えて語り合いながら食事を楽しんだ。

懇親会の途中、津祭りの安濃津よさこいでみごと大賞に輝いた三重大学、三重短期大学の学生の「天狗う」によるよさこいの演舞が披露され、参加校友も「天狗う」とともに踊りの輪に入るなど大いに盛り上がった。

最後に、参加者全員で学歌・逍遙歌を熱唱し締めくくり、来年の再開を誓いお開きとなった。

(幹事長 森貞弘)
(森貞弘) 059-231-0295

再建後6回目の総会 来賓・会員65人が参加

和歌山支部（田中昭彦支部長）では6月23日、モンテグレロイネットホテル和歌山で、渡邊泰之校友会副会長、森下

102人参加し設立30周年記念総会 総会写真中心に記念冊子を年内発行へ

東播支部（中田喜高支部長）は、9月20日に支部設立30周年の記念総会と懇親会を会員10



功橋本支部長らを来賓に迎え、65人の参加者を得て25年度総会を開催した。

再建総会から5年の歳月がたち、今回で6回を迎えることが出来た。これもひとえに校友会本部の皆さま、和歌山県在住の校友各位のお陰と感謝しております。

今後とも和歌山支部、よろしくお願い申し上げます。

(野井大史)
(長谷川冷機・赤井雅哉) 073-436-2151

2人参加のもと加古川プラザホテルで開催した。
田中義昭本部副会長、近隣

の神戸・姫路・小野・神崎各支部及び明石関大クラブの役員に出席いただいた。さらに、地元選出の国会議員、県議会議員、駐神戸大韓民国総領事の李成権氏、関西学院同窓会山本勝加古川支部長にも出席いただき、錦上華を添えていただいた。

第1部総会では、議案は全会一致で承認された。続いて、母校応援団第91代団長の村上雄紀君指揮により学歌を声高らかに斉唱。中田支部長は、挨拶のなかで歴代の支部長や役員の尽力によって、今日の支部活動がある」と強調し感謝の意を表し、会員には絆をますます強めるように要請された。引き続き歴代支部長に記念品を贈呈。

田中副会長から母校の近況報



告を含めた挨拶を頂いたあと、11月初旬の加古川レガッタに出場する漕艇部の主将に例年どおり激励金を贈呈した。

アトラクションその一として、母校のマンドリン部を初めて招き、しつとりした音色の演奏を5曲楽しんだ。

第2部懇親会は、顧問の樽本加古川市長による乾杯の発声で開宴。記念誌の発行にむけ、各テーブル毎に参加者を撮影するなどこれまでにない雰囲気になりました。会食が進んだところで、恒例の応援団諸君の演舞となった。太鼓の大きな音と、チアの溢れんばかりの笑顔に耳と目を奪われた。天野翔太副団長は4年連続の来加で、彼をはじめ団員諸君は演舞後会員との名刺交換や談笑が続いた。

各市町の特産品をはじめ豪華景品の抽選会は空くじなしで、トリの加古川和牛は田中副会長がゲットされ、大きな拍手が沸いた。宴の締めはやはり逍遙歌。そのあと、東北大学応援団第8代団長であられた山本敏信県会議員から母校応援団にエールを送っていただき、石坂副支部長の力強い閉宴の挨拶でお開きとなった。

支部では当日の写真を中心とした設立30周年記念の冊子を年内に発行する予定で、編集を進めている。
(角谷賢造)

お母さまへ

**主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。**

高槻の隣り町
島本町

TEL.075-961-7405

吉川 味与子
(関西大学卒業生の妻)

「くらしと水」の接点を支えています

暮らしになくってはならない水——
タップチは、安全で快適な
給水用具の創造で
人々の暮らしを支えています

ホームページは [タップチ](#) [検索](#)

給水用具の設計・開発・製造 〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号
株式会社 タブチ TEL 06-6708-0150(代) FAX 06-6708-0210

(角谷賢造) 079-448-7142

3人の留学生等に支援金 来年は支部設立80周年

西宮支部(中川經夫支部長)では、25年度の総会を10月5日にノボテル甲子園ホテルで、校友である河野西宮市長、校友会からは植田副会長をはじめ、各支部・各団体の代表を来賓に迎え、総勢100人強が出席して開催した。

総会は、三木副支部長の開会で始まり、応援団の指揮のもと全員で学歌を斉唱、続いて物故校友への黙祷を行い、中川支部長が挨拶、植田校友会副会長からお祝いの言葉をいただいた。

総会議事の24年度の事業報告及、決算報告・監査報告、25年



度事業計画・予算案については原案通り承認され、続いて西宮支部独自の事業である「学生支援金授与」が、中国・台湾・スリランカの3人の留学生とフエッティング部に手渡された。

懇親会は、村上副支部長の開会の辞で始まり、来賓紹介の後、祝辞を河野市長と佐藤体育OB・OG会副会長からいただき、法人顧問小坂道一先輩の発声により、声高らかに乾杯がなされ開宴となった。なお、乾杯は本年10月1日に施行された清酒の産地・西宮の条例の定めに従い日本酒で行われた。

各テーブルでは、現況報告や思い出話に花が咲く中、留学生たちから支援金授与に対するお礼のスピーチがあり、フエッティング部が実技紹介と講習会を行い、参加者・会場ともに盛り上がった。また、応援団吹奏楽部の演奏のあとチアリーダーによる演舞が披露され、会場に響き渡る太鼓の音と演舞に、学生時代の思い出が蘇ってきた。最後は、逍遙歌を合唱し、掛田副支部長の閉会の挨拶で締めくくった。

西宮支部は来年80周年を迎える。若手の皆さまの参加をお待ちしています！

(幹事 雑古晴弘・平5経)
(栄興電機工業・小坂圭一) 06-6491-5301

地域との連携更に促進 参加者昨年より2割増

宝塚支部(門田安正支部長)総会が、10月12日に宝塚ホテルで開催された。

来賓に三木允子校友会副会長、近隣支部代表者、中川智子宝塚市長を迎え60人の参加があった。

冒頭に、門田支部長からは支部事業を通じて地域との連携をさらに深めたいと呼びかけた。

また、来賓を代表して、三木副会長からは130周年を迎える大学の状況について、中川市長からは父君が関大出身であるとお話を交えての祝辞をいただいた。

宝塚支部ならではの、音楽をテーマにした本年の特別出演は、



三弦小田島流の津軽三味線で全国大会団体の部で4連覇の大槻ゆきみさん(高校一年生)他2人による「津軽じょんがら節」など数曲、東北の被災地の心に届けと祈る力強い演奏に惹きつけられた。大槻さんは、幼少期より血のにじむ修練を重ねてこられたと、我々がこれまでの人生において、ここまでの努力をしてきたことがあったであらうかと思わせるものがあった。

本年の総会参加者は、昨年より2割増えている。これも事業や同好会活動の活発化の表れではないかと思っており、更に活動の充実に向けて取り組んで行きたいと考えている。

最後に応援団第91代・村上団長の指揮で参加者全員が肩を組んで逍遙歌を合唱し、来年の再会を期した。

(副支部長 三坂友章)
(塚本壽一) 0797-851-491

初参加の校友など61人 交歓会で籤引き抽選会

10月5日初秋を感じる中、川西支部(井上能一支部長)の25年度総会が川西市文化会館で開催された。同会館へは交通の便が良くないため参加者数が危ぶまれたが、本部や近隣支部の来賓、そして初参加の校友を合わせて合計61人が集まった。



総会1部では、井上支部長による開会の挨拶の後、初参加者の紹介を行った。議案審議では、前年度の事業報告、会計報告、25年度の事業計画案・予算案を審議し、支部会則改正案も含め全ての議案が承認された。

暫し休憩の後、総会2部に入った。まずこの1年に亡くなられた支部校友に黙祷を捧げた後、学歌を斉唱。来賓紹介・祝辞披露と続き、加茂忍顧問による乾杯で交歓会の開幕となった。会食が始まり会場は懐かしい旧友たちの交歓の場となりあちこちで歓声が飛び交った。

交歓会のハイライトである「くじ引き・抽選会」が始まった。例年の演奏会スタイルを変え全員参加の交歓会に、この試みである。2等・お米券、1



仁徳天皇陵など史跡探訪 近隣支部との交流も収穫

川西支部では、9月28日に第8回史跡探訪の会を開催した。今回も、宝塚・伊丹・豊能・猪名川支部から9人の参加を得て交流を深め、有意義な会となった。

等・ホテル食事券と進み、そして注目の特等・旅行券のくじ引きは、菅原巖顧問が幸運の矢を仕留め、会場は大喝采。菅原顧問は「早速第2のフルムーンに出發します」とのことだった。他にも各種の賞があり会場はそのたび歓声に包まれた。

逍遙歌を相澤佑勲氏のリードで熱唱、本田哲也副支部長の開会挨拶でお開きとなった。

(臼井宏・昭45文)
(荒木敏雄「072」758—1787)

猪名川支部から参加の大西経二支部長から寄稿を頂いたので、紹介し、活動報告とさせていただきます。

川西支部主催の「史跡探訪の会」に参加した。堺市の「仁徳天皇陵と百舌鳥古墳群」の史跡探訪だった。当日は晴天に恵まれ、30数人の参加者で大変にぎやかなものであった。

川西支部の呼びかけで、近隣支部の宝塚・伊丹・豊能・猪名川支部からも参加があった。日頃は各支部の行動だが、今回は交流ということで、顔見知りの方々と親しく話ができたことが何よりの収穫だった。

仁徳天皇陵の周りを徒歩で巡る探訪だったが、歴史的な話を詳しくお聞きすることが出来、久しぶりに古代の世界へタイムスリップした感じの一日となった。世界遺産への登録が検討されている中、欲を言えばもう少し陵の中へも入り、詳しく見てみたい思いもあった(不可能なことだが)。

探訪中に近隣支部の活動の情報交換ができたことも大きな収穫であった。さらに、探訪後の懇親会で、より一層交流を深めることが出来た。支部単位の行事と共に、近隣支部との交流がいかに大事であるかを知った一日だった。

(大西経二)
(史跡探訪の会会長 菅原巖)

五会合同「夕涼み会」 秋の行事へ期待高まる

川西支部では、夏の恒例行事となっているゴルフ・釣り・歩こう・史跡探訪・ヤングの5会の合同夕涼み会を、音羽・多田別館で8月31日に開催した。

雨模様の中、43人の各会会員が集まり、全員が揃ったところで記念写真。本年亡くなられた磯田和正、福本眞周、名川泰二の3氏ほか物故校友への黙祷を行いその冥福を祈った。

初参加者紹介の後、今回の担当釣り同好会山内眞一郎会長の開会挨拶、井上支部長の祝辞に続き、兵庫県議会議員の加茂忍支部顧問による県議会報告・アベノミクス解説等の話を興味深く聴いた。

水口博喜名誉支部長の発声による乾杯で開宴、楽しく、賑やかな会が始まった。



かな会が始まった。

司会者の軽妙な司会振りで盛り上がる中、5会の会長・副会長の活動予定が披露され秋の行事への期待が高まった。

(山内眞一郎)

全員が揃って爆釣！ 本田氏が嬉しい初優勝

川西支部釣り同好会(山内眞一郎会長)の第22回秋季大会が、10月26日に須磨海釣り公園で台風一過絶好の釣り日和の下、参加者8人で開催された。

第4釣台「海洋牧場」横角に各自陣取り、7時より競技を開始した。「優勝」は魚種問わずの「長寸大」(魚体が最長)「滝岡賞」は竿頭(最多釣果)とした。小アジ釣りのシーズンとしては、やや遅めであり釣果が心配されたが最盛期並みの好釣果



が得られた。

海岸寄りの餌売り場近くの角に陣取った本田・安田・荒木さんに、幸先良く12〜15センチの良型のアジが早々と釣れ出し、桟橋の角から中ほどに竿を出した山内・多田・鎌田・辻田・森藤さんにも次々とアジが上がりだした。

釣ったアジを餌に大物狙いの竿を出した山内の竿や、底物狙いの竿を出した鎌田・安田さんの竿には餌取りの猛攻に遭いアツトいう間に餌を取られてしまい、いずれも空振りに終わってしまった。サビキ釣りが初めての多田さんも、鎌田さんの良きアドバイスを得てすぐに要領を会得すると次々と釣り上げ、全員が揃って爆釣！

昼前近く、釣れ止んだところで12時を以って競技終了した。今回の優勝は、20センチのウマズラハギを釣り上げた副会長の本田哲也氏が嬉しい初優勝。滝岡賞はアジ他112匹の辻田嘉扶氏、バラエティ賞は5魚種の山内でした。参加者全員の釣果がアジ・ハギ・イサキ他の600匹超の大漁となつて、楽しい大会となった。

(山内眞一郎)

老・壮・青相集う活動を 続投の大角支部長が挨拶

9月7日、都ホテルニューア



ルカイックで支部校友81人、来賓21人、学生、応援団含め総勢135人が参加し尼崎支部（大角教雄支部長）総会が開催された。

1部総会は、田中正喜幹事長の司会で始まり、学歌斉唱、物故校友に黙祷の後、大角支部長が出席の来賓、校友にお礼の挨拶。議案審議に入り、事業・会計報告・事業計画案・予算案等の議案は承認された。

役員改選では、支部長をはじめとする新役員案が承認され、大角支部長が続投となり、「当支部のモットーとする」老・壮・青相集つた「を活動のコンセプトとして継承し、役員一同が一丸となって支部の発展に努力する所存です」と就任挨拶、議事は全て終了した。

そして、今年行われた市議選で当選した2人の支部校友、真鍋修司氏（昭63卒・5期目）、

久保高章氏（昭52卒・初当選）へ花束が贈呈された。両校友は「今後母校関係大の名に恥じないように頑張ります」と挨拶し、1部が終了した。

2部懇親会は、山田実、山中直子の両幹事の司会で進行。

静寂の会場で母校邦楽部学生による演奏披露が始まり、伝統文化の邦楽の世界を一同堪能した。懇親会は河本享副支部長の挨拶でスタートし、来賓紹介の後、代表して寺内俊太郎校友会と小坂道一法人顧問から祝辞を頂戴し、依藤次市役所秀麗会副会長の乾杯の発声で懇親会が始まった。

新卒者と学生合わせて11人が紹介され、高畑智彦君と三好茜さんが新社会人としての抱負を述べた。続いて支部の恒例となっている「卒業50年の御祝」では、伊藤清記校友、竹瀬元紀校友（前支部長）が登壇し、記念品の贈呈が行われ、両氏から謝辞があった。

時間の経過とともに懇親の輪も広がってゆき、迫力ある関西大学応援団演舞・演奏に魅せられムードは最高に達したところで、全員で逍遙歌を唄い会場が一つになった。重田守康副支部長の挨拶で閉会。（広報 松本）（田中正喜 〇6―6499―1948）

初めて直林支部長迎え 女子トークは止まらず

10月18日、芦屋市内のビストロ「ソルト&ペッパー」で芦屋支部（直林法廣支部長）第7回女子会が行われた。今回は初めての企画で、直林支部長をお迎えし、女子7人（1人残念ながら当日欠席）と総勢8人となった。

当初、支部長は女子会ということであらうと知られたが「皆様のご協力なくしては支部の興隆もありません。色々とお願ひもありましたので出席します」と快く参加いただいた。

いつもながら、女子トークはとどまることを知らず、次から次へと話題が尽きなかった。現役生に就職等についてワークシヨップ形式で何かアドバイスしたり、マンパワーでもってもつと地域に還元していこうという



話も出てきた。支部長にも今後のお話も伺えて、芦屋支部女子会としての方針がみえてきた。

今回のお店のシェフは元ホテルプラザ出身で、ワイン好きが集まると聞いて、ワインに合うお料理をセレクトしていただいた。ホッと一息つける、どこか心温まる…そんなお店で全員大満足のひとときを過ごした。

（糸川寿子・昭62学社）
（依藤健史 〇797―23―7004）

BBQとワイン楽しむ 昨年始動の女性の集い

神戸支部（齋藤富雄支部長）活性化の一環として昨年8月に始動した女性の集い「なでこKOBÉ」。第4回の集いを9月29日に須磨の野村典子副支部長（昭48商）宅へ10人が集い開催した。今回のテーマは「バー



制御盤配電盤製作・計装、電気工事



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信 義

本社 〒660-0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
〒177-0033
東京営業所 東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430
ホームページ <http://www.kyoei-d.co.jp>



を考える会社



YKK AP株式会社 ビル建材第一事業部 大阪支店
大阪府大阪市中央区谷町4-8-7 TEL.06-6947-4141

www.ykkap.co.jp

ベキューとワイン。

野村家のバーベキュースタイルは、肉や魚はもちろん焼いたり蒸したりするのだが、野菜もとなると同じ味で飽きるし、焦げるといってサラダやナムル、お浸しや漬物にされるそう

だ。 本場に盛りだくさんで味はもちろん、見た目もきれい、お料理も勉強になった。そして、ワインに詳しい大倉敏郎副幹事長（昭57社）をゲストにお招きして、ワインのテイスティングや産地やブドウの種類など教えていただき、奥の深さを実感した。10時準備、12時スタート、気づいたら夕方5時だった。食べ飲んで笑って話して、ますます親交が深まった女子会だった。女性としてお料理やおもてなしの勉強にもなり、見習いたいところがたくさんで本場に楽しく充実した会となった。

バーベキュー焼係をずっとしてくださった野村副支部長の主人様、本当にありがとうございました。また、開催にあたっては神戸支部より助成を受けています。

（常任幹事 小林泰代・平5経）
（事務局メール）kuakobe1956@gmail.com
Facebook・HP「関西大学校友会 神戸支部」

「筆のしらべ」と 新入会員3人を迎え

生駒支部（藤俊弘支部長）の25年度総会が、本部の三木副会長、加藤学生支援部長はじめ近隣7支部の代表らを来賓に迎えて総勢28人が出席し、10月19日に生駒市のベーカーレストラン・サンマルクで開催された。

第1部総会では、林幹事が司会し、学歌斉唱、校友物故者に対する黙祷の後、藤支部長の挨拶、来賓紹介並びに来賓代表挨拶、新入会員紹介へと続いた。来賓を代表して三木副会長は、関大生の活躍として、創部以来初の全国制覇を成し遂げた体育会準硬式野球部、なぎなた部、テニス部を紹介された。議事では、活動報告・収支決算書・会計監査報告並びに次年度活動計画



画・予算案が各々承認された。

第2部では「筆のしらべ」と題した演奏会を楽しんだ。演奏は、生田流正派邦楽会大師範で筆・三弦教授伊藤雅寿美氏、生田流正派邦楽会伊藤香穂里氏で、お二人は伊藤晃充校友の奥様とお嬢様である。

第3部は、大西副支部長が司会し、平野支部大江副支部長の乾杯の発声で開宴。新入会員3人の自己紹介、東野会計の軽妙なトークによる福引き抽選会へと進んだ。景品当選者の一言では、八尾支部中尾支部長の謡もあつた。最後に逍遙歌を声高く合唱し、記念撮影で閉会とした。（幹事長 山崎康裕）
（藤俊弘）0743-7915157

八尾河内音頭まつりで 注目を浴びた特製法被

八尾支部（中尾達夫支部長）は、9月8日に久宝寺緑地陸上競技場で開催された第36回八尾河内音頭まつりに、「関西大学ここにあり」と八尾市民にアピールしようと参加した。

支部としての参加人数は毎年減少傾向にあり、今年は中尾支部長、植田・南野・長野の3副支部長及び鍛冶屋利春、古仲敏彦、松田憲幸の3氏の計7人と、応援団としてその家族が参加した。



沢勲西淀川支部長が、大阪経済法科大学名誉教授として見えしており、応援の言葉をいただきました。

今年は単独チームの要件人数を満たさず、7人は一般市民連のチームに入り、胸元に「関西大学校友会」、「八尾支部」などと染め抜いた法被を着用したが、これは会場でも注目を浴びた。背中の「葦の葉」の校章を見て、声を掛けてくれる関大ファンの市民もいた。

スタートまでの間に、実行委員長である八尾商工会議所の中西会頭や原八尾副市長らスタッフから激励のお声掛けをいただき、記念撮影にに応じていただいた。

本番は、陸上競技場のグラウンド400mを1周するのであるが、スタート地点では、当日生中継するテレビクルーがあつた。

あらゆる宿泊合宿に対応いたします。

- ・2面分使えるグラウンド
- ・全天候型スポーツ施設「シルクドーム」
- ・テニスコート4面
- ・体育館



モンゴルのゲルの形が目印。
但東が誇る、つつつイペイペの美人湯です。

シルク温泉やまびこ

兵庫県豊岡市但東町正法寺165

Tel 0796-54-0141

Fax 0796-54-0848

代表取締役 奥田 清喜

取締役 宮嶋 幸広 (S53工卒)



た。メンバーは、最初緊張ぎみであったが、鍛冶屋校友の明るい掛け声に乗せ、踊りが順調に運んだ。

最終地点では、八尾市役所開大会（小山登会長）のメンバーが拍手で労をねぎらってくれ、ライオンズクラブの一員として参加していた岩崎英夫東大阪支部長も迎えてくれた。まさに関大ファミリーであり、「葦の葉の校章」の威光の大きさを体感した半日であった。

（支部長 中尾達夫）
（中尾達夫「072-998-3526」）

道明寺拝観の後、総会地区の特性活かす事業

10月6日、藤井寺支部（國下和男支部長）の総会が開催された。今回は趣向を凝らし、第1部は地元地域の名所旧跡めぐりとして道明寺を拝観、山主・六條照瑞師の講話を拝聴。第2部総会、第3部懇親会の日程で開催した。

第1部は、道明寺において講演会・拝観。この日は講演のために特別にご本尊拝観をお願いした。参加者は校友以外に家族、知り合いも含めて20人。道明寺は道明寺天満宮と道一つ隔てて位置する真言宗の尼寺。古代氏族土師氏の氏寺として、7世紀中葉に菅原道真が建立され



たと考えられているとのこと。

六条照瑞尼（御前様）ご講話の前に本堂にて尼僧より般若心経を唱え、道明寺縁起を拝聴。国宝木造十一面観音立像と木造聖徳太子立像を拝観。御前様は大正11年3月生まれの91歳、非常にお元気にされており、道明寺を見守られてきた方。各校友は道明寺構（ほしい）のお餅と抹茶で懇談。

その中で道明寺と縁のある校友が多いことが分かり感心しきり。以前、この道明寺で謡「道明寺」の能を舞ったことのあるという中尾八尾支部長、関西大学の文化遺産学交流会で長期にわたり、庫の宝物調査を実施してきたという西田松原支部長、本当に関大はソーシャルネットワークが強い。

第2部総会は、料亭こもだに移り、本間副支部長の司会、國下支部長の開会の挨拶で始まっ

た。学歌斉唱、今年逝去された元藤井寺市長の堀端宏校友の黙祷を行った。

来賓代表として、渡邊副会長の挨拶、続いて各支部代表の紹介、國下支部長を議長として議事に入り、滞りなく終了した。なお、今期は役員改選があり、前山田副支部長の退任他、一部異動があった。

第3部は懇親会。尾松副支部長の司会で始まり、渡邊副会長から、支部には支部の規模に見合った運営が必要で、会員拡大にも地元の利用を活かした知恵を出して活動を考える時代になっている。特に河内地区は遺産、名所旧跡も多く、支部イベントとしても充分見聞の価値はある」とご意見をいただいた。肩を組んで逍遙歌を合唱の後、大谷校友の一本締めで和やかなうちに終了した。

（副支部長 畑山将彦）
（技建設計・本間敏司「06-6533-5145」）

笑い方の実演込めて講演人間健康学部の森下教授

母校のお膝元にある吹田支部（奥谷英夫支部長）では、秋晴れに恵まれた9月21日、吹田市文化会館・メイシアターで、本部・大学・近隣支部などの来賓と賛助出演者も含め総勢122人が出席して25年度総会を開催

した。

総会後には講演会が、その後には懇親会が催され、出席者は4時間以上にわたって母校を同じくする者同士の絆を確かめ、爽やかな秋の一日を楽しく過ごした。

学歌斉唱、物故会員への黙祷の後、挨拶に立つた奥谷支部長は、「50歳以下の会員で構成されている青年部がより以上に事業に加わってもらうと、支部活動が活発になる」と期待する言葉を述べた。

総会の議事では、成岡昭二幹事長、小上廣之會計幹事、佛性徳重監事が議案について説明し、全議案が拍手で承認された。

続いて開催された講演会で、は、母校の森下伸也人間健康学



部教授が、「笑いには百薬の長」をテーマに、約1時間、その人間の健康に及ぼす効用などについて、笑い方の実演を込めて講演され、出席者は講師のパワーに圧倒されていた。

会場をレセプションホールに移して、お楽しみの懇親会を開催。多忙の中駆け付けていただいた上原洋允相談役と井上哲也市長からお祝いの言葉を頂戴し、無料招待の新卒校友と初参加者を紹介した。

今年のアトラクションには2チームが登場した。最初は、吹田ちびっ子チアダンスチーム「Blue stars」。約40人のちびっ子が、元気な声と共に舞台上で場し澀刺としたチアダンスを披露し、出席者からは大きな拍手喝采がおこっていた。

続いて、現役の大道芸サークル「ジャグリマ専科」が登場。多数の観客を前にしたからか、多少のミスが……、しかしそれも愛嬌のうち、激励の拍手に最後まで日ごろ鍛えた技を披露して大うけだった。

恒例の高級海産物が当たる空くじなし福引抽選会では、アトラクション出演の2チームもくじ引き、賞品渡しで協力。賞品を可愛いチアガールから手渡されて、会場は最後まで笑顔に包まれ、楽しみな来年9月27日（土）の総会までの1日目が始



まったような散会となった。
(幹事長 成岡昭二)
(奥谷英夫「06—6836—6870」)

**保津川くだりや嵐山散策
食事後には天龍寺も見学**

台風一過、晴れ渡る10月21日、池田支部(井上章支部長)のメンバー13人は、保津川くだりと嵐山散策、トロツコ列車を楽しむ旅行を催した。

メンバーのほとんどが保津川くだりは初めてとあって、約2時間にわたって景観(残念ながら紅葉はまだこれからという感じだったが)とスリルを味わうことができた。嵐山に到着後、料理旅館「花筏」での昼食に舌鼓を打ち、楽しい時間を過ごした。食事の後は、天龍寺を見学し

た。「雲龍図」や世界遺産にも登録された庭園を見学し、都会の喧噪を忘れることができた。

その後、帰りのバスが待つ亀岡の乗船場へ再び戻るために嵯峨野駅からトロツコ列車に乗った。午前中に下ってきた保津川を上から眺めつつさかのぼる気分はまた格別のものがあつた。

池田支部としては、久しぶりの親睦旅行となつたが、参加したメンバーは保津川下りや嵐山散策を満喫し、メンバー相互の親睦をより深められたと思つて

(尾崎博彦・昭62法)
(井上章「072—753—5645」)

**ベトナムの現状等講演
会計事務所開設の校友**

淀川支部(山本章一支部長)の24年度総会が、6月21日に十三のホテルブラザールサカで開催され、田中義昭校友会副会長をはじめ来賓の方々を含め総勢22人の校友が出席、盛大に氣勢をあげた。

総会では、議案が全て原案通り承認された。その後、初めての試みとして、ベトナム・ホーチミンに会計事務所を開設し、国際的に活躍中の中井孝先生(昭57M商)に「ベトナムの現状及び将来」に関する講演を行っていた。今後ベトナムへの進出を考えておられる方々に



■支部の地域連携事業報告■

末永雅雄博士文化勲章受章25周年

顕彰事業で菅谷樫考研所長が講演

石舞台古墳や高松塚古墳をはじめ多くの古墳の発掘調査の指揮、古代の甲冑や刀剣に関する研究、橿原考古学研究所の創設、古墳の航空査察など日本の考古学の礎を築いた故・末永雅雄博士(関西大学名誉教授)は、昭和63年に考古学界で初めて文化勲章を受章された。

今年を受章25周年に当たり、

生誕地の大阪狭山市では、名誉市民の末永先生を顕彰しようとして、大阪狭山支部(吉川壽一支部長)にも協力を仰いで、末永雅雄博士顕彰事業実行委員会を結成。顕彰事業の一つとして、9月13日に大阪狭山市文化会館(SANKYUホール)小ホールで、奈良県立橿原考古学研究所長・菅谷文則氏(昭42M文)を招いて『狭山池と共に生きた末永雅雄博士』文化勲章受章までの歩み』と題する講演会を開催した(大阪狭山市・市教育委員会・関西大学校友会など後援)。

会場には、平日の午後にもかかわらず230余人の多数の来場者が詰めかけ、特に当支部から22人もが出席、熱心に耳を傾けていた。菅谷所長は、「とにかく末永先生には、思い出してもよく怒られたという印象が強く残っている」とのこと。真面目に礼儀正しくというのが末永先生のコンセプトではなかったのでは」と語り、参加者には考古学の話という堅苦しさも無く聴けたと好評であった。

また、講演に先立ち、狭山地区会からの寄附で、水天宮境内に末永先生写真記念額を建立、その除幕式を菅谷所長にも立ち会っていただき、執り行った。

なお、顕彰事業は、1400年の歴史が息づく狭山池を中心とした地域活性化の推進、末永博士が名誉村民であつた明日香村との文化・観光交流事業などを今後も実施していく予定。

(大阪狭山支部幹事長

花崎光輝)

(花崎光輝「072—366—6120」)

世界有数の水と土の闘い 初の住民参加行事で見学

松原支部(西田孝司支部長)は10月4日、大阪・奈良府県境にある古くからの交通の要所「亀の瀬地すべり地区」(柏原市)で、地すべり対策工事の現地見学会を開催した。

普段は個人ではなかなか入ることができない排水トンネルを歩いたり、昭和67年の地すべりで埋まった後に発見された旧大阪鉄道亀の瀬隧道などを見たりし、日本の土木技術のすばらしさを体感した。

地域との連携や交流の輪を広げるとともに、関西大学のよさを知ってもらおうと、松原支部で今年から始めた住民参加の行事。世界でも有数の「水と土の闘い」といわれ、約50年かけて一昨年に工事が終わっ



とって、大いに参考になる内容であった。

講演後は一転、豊原校友の軽妙な司会による懇親会が開催され、田中副会長の挨拶から始まり、各テーブルで歓談、酒杯の交換が行われ、大いに盛り上がりつつある様子であった。

懇親会の締めでは、恒例の肩を組んでの逍遙歌合唱と集合写真撮影を行い、再会の時を約しつつ、各自十三の街へと繰り出して行った。

今回も初参加の校友（女性も）が複数おられた。新たに出席していた校友が益々増えていくことを期待している。

（支部長 山本章）
（協和エステート・西島義人）
06—6885—7087

大坂城は徳川のお城 田中氏の話にびっくり

9月19日、ふつふやで3回目の鶴見支部（迫匡支部長）定例交流会を開く。迫支部長（昭40商）から、9月5日の支部対抗親睦ゴルフ大会（四条畷ゴルフクラブ）のスコア発表。9月23日秋分の日に行う校友と家族を対象とした「のどか村ファミリーハイキング」、続いて10月20日（日）の校友会総会並びに12月4日の今年度第2回目支部ビューティーレディーズ会等々の行事案内。恒例となった今夜のマイスピーチは、前回に引き続き田中伊佐夫先輩（昭35文）による大坂城の歴史パートである。

田中先輩の話は、「大坂城は通称大岡さんのお城とも呼ばれて豊臣秀吉が築城したと言われているが、大坂城総合学術調査において、城跡に現存する櫓や石

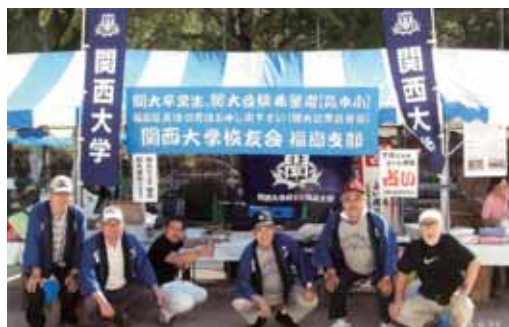


の、今もなお頑丈に残る鉄道隧道を見学。明治25年に完成し、黒いススが残る煉瓦積み構造に、当時の技術の高さに感動の声が出た。

帰り道は秋空に誘われ、『万葉集』にも出てくる竜田道の峠八幡神社や「日本四関」といわれる関地蔵などに立ち寄り、歴史にもふれる一日を過ごした。（副支部長 永田徹）
（西田孝司）072—336—1600

福島区民まつりに初参加 校友の親睦の輪も広がる

晴天に恵まれた9月21日、福島支部（宮腰健次支部長）では、支部の地域連携事業として、大阪厚生年金病院南側の下福島公園で繰り広げられた「第39回福島区民まつり」



に初めて参加した。

当日は、会員に発送した案内状を見て、卒業生やその家族など39人の来訪者があった。来訪者には記念品を進呈し、新たな校友との結びつきを築くことができた。関大の看板、幟や法被を見て懐かしそうに訪れる校友の姿が印象的であった。また、関大中等部の入試情報を求める人も複数あり、後日資料送付を約束し、関大の認知度アップにも寄与できた。

福島支部ブース内に占いコーナーを設置したが、12人の来訪者があった。来訪者は途切れることなく、順番待ちの状態が続いた。他にも、関大グッズを販売したり、お茶やお菓子でもてなしたりし、テントの中では、来訪者同士で親しく懇談する姿が見られた。

この度の新たな事業によって、地域コミュニティの形成に寄与することができ、また支部としても準備段階から大いに盛り上がり、買出し、資料作成、イベント準備など支部内の活性化も図ることができた。支部校友の親睦の輪がより広がったのが何よりだった。

（宮腰健次）
06—6453—0519

垣などは徳川氏、徳川幕府によるものであるということが実証。唯一現在の石垣下部(約7mくらい)に旧石垣が残っている程度ということで、安土桃山時代の大坂城は、全て徳川との戦いで焼失し、江戸時代に2代将軍秀忠によって大坂城が再建された」というもの。大変内容のある話で、一同びっくりしながら興味深く聞き入った。

その後、鶴見支部恒例のお楽しみビンゴゲーム。今回ビンゴで一番乗りの上田副支部長は、お望みの賞品「石けん」を手に入れて、にっこりだった。

(幹事長 有畑吉是)
(迫 匡) 06-6961-7363

「信貴山のどか村」へ 3家族など14人が参加

鶴見支部は、9月23日、「信貴山のどか村」へファミリーハイキング。暑すぎるくらい快晴。朝、駐車場入口に「関西大学」の旗や幟を数本立てて、3家族9人と単独参加1人にスタッフ4人を合わせて14人でスタート。

芋ほり、大根ほりなどんでも掘り進み、収穫物を見て子どもたちが大喜び。昼食はバーベキュー・ハウスで。わいわいの中で食べる昼ご飯のいいこと。関大ファミリーの一番輝かしい



ひと時。

スタッフは子どもたちに「大きくってハーバード大学を受けても、ケンブリッジ大学を受けてもええから、入るんは関大やで!」とPRを怠らない。

午後からにわとり、やぎなどの動物を身近に観察。くり園ではイガイガに手を出したり引っこめたりしながら、見つけると大騒ぎ。母親は子育て談議に花が咲きだしていた。

午後3時すぎ、関西大学ジョーダン学部学部長近藤善重先生?から良い子へのプレゼントタイム。この時ばかりはみんな良い子に変身!先生の前に順番に「渡される一つ目・二つ目・三つ目と好いものを、満面に笑みをたたえて受け取っていた。もつこれで将来の関大生はゲット!またの再会を約束して、信貴山のどか村で現地解散。

暑気払いビアパーティー 若手会の活性化を目指す

8月28日に阪急百貨店13階のシャンテリアテールで大阪中央支部(伊藤晃充支部長)若手会の暑気払いビアパーティーを行った。初参加の方を含め総勢21人で大いに飲み、大いに食べ、大いに楽しんだ。

当支部では、若手会の活性化を目指し夏の懇親会、冬の忘年会を行っている。今年の忘年会は上野和雄さんが幹事となり開催いたしますので、興味のある方はご参加ください。

なお、28日当日の写真をウェブで公開していますのでご覧ください。

<http://picasaweb.google.com/kwanda>

(事業部長 前田典亮)
(伊藤晃充) 0743-71-2



285)

支部活動について講演 40歳代働き盛りが中心

阿倍野支部(松田充弘支部長)25年度総会を、9月14日にホテル日航大阪で開催した。総会には、本部渡邊泰之副会長、田中義信大阪市内支部連合会長及び大阪市内9支部からの来賓と支部会員と合わせて28人が出席した。

松田支部長の挨拶のあと議事進行、会員の承認を得て無事終了した。その後、今回は新入会された会員に、校友会の活動状況をよく知ってもらうため、渡邊副会長に「校友会の活動について」と題して講演をいただいた。

内容としては、大学の実状等も交え、校友会活動の状況等を熱く、ユーモラスに語っていた。大阪以外の支部活動の取り組みを見ると、40歳代

80余人出席して盛大に総会開催 会場いっぱい広がる友情の輪

大阪市役所支部のみおつくし葦の葉会(村上栄一会長)25年度総会が、9月10日に中央区のヴィアール大阪で開催された。

来賓として本部から北嶋副会長、大阪府庁秀麗会から谷会長、尾川幹事長など多数の出席



の働き盛りの人たちが中心となつて活動をしているという話をされ、今後の大阪市内の各支部活動の取り組みに関して大いに参考となった。

その後、参加者全員の紹介、ビンゴゲーム等を楽しみ、最後に逍遙歌を声高らかに歌い、記念撮影の後、散会となった。

(幹事 林義夫・昭42工)
(松田商事) 06-6622-5580

をいただき、さらに、前年度に大阪市役所を退職された校友や新規採用の校友職員を招待するなど、80余人出席のもとで盛大に行われた。

議事では会計報告、役員改選を満場一致で承認、会長は村上

平成24年度 1級建築士 設計製図試験

全国 合格者占有率 No.1

37都道府県での開講にもかかわらず
全国の合格者の半数以上が
当学院現役受講生！

全国合格者合計 4,276名中、
当学院現役受講生 2,211名

他講習
利用者
+
独学者

当学院
現役
受講生

51.7%

平成24年度
1級建築士合格者

卒業
合格者 48名中、28名が
当学院の講座を利用して合格されました！

当学院
利用率 **58.3%**

※卒業学校別合格者数は、試験元である(財)建築技術教育普及センターの発表によるものです。＜平成24年12月20日現在＞

平成24年度 2級建築士 設計製図試験

新試験となった2級建築士設計製図試験において、
当学院の「分析力」「対応力」を含めた講習システムの良さが
実績として証明されました!!

当学院現役受講生
合格者数 **2,116名**
＜平成24年12月12日現在＞

平成24年度 1級建築施工管理技術検定

学科試験 当学院基準達成
現役受講生 合格率

実地試験 当学院現役受講生
合格者数

97.7% **956名**
8割出席・8割宿題提出現役受講生
256名中、合格者250名
＜平成24年7月20日現在＞

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の
役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

開講講座 無料体験入学実施中! お気軽に下記各校まで!

1級・2級 建築士 **宅建** **1級・2級 建築施工管理技士**

1級 土木施工管理技士 **インテリアコーディネーター**

株式会社 総合資格

(社)日本経済団体連合会会員 監理技術者講習実施機関 登録番号7
(社)日本建築学会会員 宅建登録講習機関 登録番号(3)第009号
(社)全国産業人能力開発団体連合会会員 宅建登録実務講習実施機関 登録番号(3)第5号

株式会社 総合資格学院 法定講習センター

国土交通大臣登録講習機関 二級建築士定期講習 登録番号 第4号
一級建築士定期講習 登録番号 第5号 管理建築士講習 登録番号 第2号
経済産業大臣指定講習機関 第一種電気工事士定期講習 登録番号 第4号

総合資格学院

梅田校 TEL.06-4709-8111 神戸校 TEL.078-241-1711
新大阪校 TEL.06-6101-1911 姫路校 TEL.079-224-1411
京橋校 TEL.06-6882-8211 京都校 TEL.075-352-3011
なんば校 TEL.06-6648-5511 草津校 TEL.077-566-6911
堺校 TEL.072-222-9311 奈良校 TEL.0742-30-1511

今すぐウェブ検索 ケータイサイトも充実

総合資格 検索 <http://gakuin.jp/>

※QRコードは
バーコードリーダー
対応機種に限りです。

学院長 岸 隆司 (法48卒)

市民局長が引き続き務めることとなった。ここでご来賓に入場していただき会場が満席になったところで、学歌を斉唱。村上会長の挨拶に続き、来賓の北嶋副会長から挨拶をいただいた。

懇親会は、奥野副会長の乾杯でスタート、会場のおちろちろで談笑の輪が広がり、お互いの親睦を深めあった。その間、招待した退職者、新規採用者の一人一人の自己紹介があり、今



後のご活躍に激励の拍手が送られた。

会場いっぱいには友情の輪を広げる中、田林さんのリードで逍遙歌を声高らかに合唱して、名残を惜しみながら総会の幕を閉じた。

(会計 蔵田一成)

(大阪市教育委員会事務局生涯学習部・村上栄一 06-6208-9950)

臨床心理士が講師役 弁護士が悩みを相談

8月31日、大阪弁護士会館で関西大学臨床心理士会(足利学会長)・関大法曹会(山田庸男会長)の合同勉強会が開かれた。当日は台風接近の予報でやきもきしたが、蓋を開けてみれば雨も降らず、風も吹かず、時間どおりに勉強会を開くことができた。

「合同勉強会」と銘打ったものの第1回ということもあり、

実際のところは臨床心理士の方を講師にお招きしての、弁護士のための勉強会となった。お話しはどれも興味深く、出席した弁護士一同、強い関心を持って話に聞き入った。

とはいえ、そもそも「臨床心理士とは何ぞや」というところから始めないといけないくらい、何も知らない弁護士集団。我が母校関大が、全国にわずか6校しかない臨床心理士の専門職大学院を有していることも初めて



知った。

また、臨床心理士の資格を得た後も、5年ごとに更新のための研修があるとか。5年ごとに弁護士資格を見直す制度ができたりしたら無事更新できるだろうか、我が身を省みてしまった。

実際の仕事内容として、弁護士も関わりのある成年後見制度についてのお話があり、いわゆる認知症や統合失調症などにはどのような症状が見られるのか、どういった検査をするのか具体的な説明をしていただいた。

また珍しいところでは性同一性障害の診断についてもお話いただき、普段あまり知ることのない分野のお話は興味が尽きなかった。

せっかく臨床心理士の方に来ていただいたので、我々の日頃の悩みも聞いてもらいたい!というところで、質問コーナーは一

転 お悩み相談室と化した。

性格的になかなか難しいクライアントを抱えている場合、どういふふうに接したらいいのか、日頃の対応は間違っていないのか、次々と質問が飛びだし、予定の時間を大幅に延長してしまっただが、講師のお二人はどの質問にも丁寧に答えて下さった。

今回の勉強会で、臨床心理士「カウンセラー」というだけではなく、とても幅広くお仕事をされているということが分かった。弁護士の仕事も実はとても幅広いもの、だから両者が連携できる分野はいろいろあるのではないかと、そんな可能性も感じさせてくれる2時間であった。

(関大法曹会副幹事長 岩田祐子)

(関西大学臨床心理士会・関西大学心理相談室 06-6368-0278 関大法曹会・尾島法律事務所 06-6363-2870)

性格的になかなか難しいクライアントを抱えている場合、どういふふうに接したらいいのか、日頃の対応は間違っていないのか、次々と質問が飛びだし、予定の時間を大幅に延長してしまっただが、講師のお二人はどの質問にも丁寧に答えて下さった。

今回の勉強会で、臨床心理士「カウンセラー」というだけではなく、とても幅広くお仕事をされているということが分かった。弁護士の仕事も実はとても幅広いもの、だから両者が連携できる分野はいろいろあるのではないかと、そんな可能性も感じさせてくれる2時間であった。

(関大法曹会副幹事長 岩田祐子)

(関西大学臨床心理士会・関西大学心理相談室 06-6368-0278 関大法曹会・尾島法律事務所 06-6363-2870)

卒業60周年で記念懇親会を開催 恒例の「名入り集合写真」も撮影

二八会（辻見重行代表幹事）では卒業60周年を迎え、10月24日に母校千里山キャンパス校友・父母会館会議室で記念懇親会を開催した。

開催日の数日前に台風27号の直撃ニュースもあり、63人の出席予定が44人に減ったが、当日は雨にも降られず開催することができた。

懇親会には、校友会から寺内俊太郎会長を来賓に迎え、野島努会計監査の司会・開会の辞で始まり、学歌斉唱の後、物故同期生への黙祷を行った。

世話人代表挨拶で、辻見代表



幹事から、出席者名簿とともに死去者名簿を配布した経緯の説明があり、「皆はその仲間入りをしない様に、元気に長生きしよう」と呼びかけられた。

次いで、寺内校友会長から、28年卒業生の果たして来た功績の多いことに対するお祝いとお礼、「これからも頑張ってください」とのお言葉をいただいた。

恒例の「名入りの集合写真」を撮影した後、佐藤幸平副代表幹事の発声で乾杯、懇親会が開宴した。懇親会では、斉城正之君の手品の発表もあり、大いに賑わい、旧交を温めた。その後、三木憲三会計監査の発声で追送歌を合唱し、再会を誓って散会した。（辻見重行）
（辻見重行）072-336-4316

いつも通りに近況報告 節目の年来年も元気に

今年の神戸三九会定例会は、9月3日、気分を変えて阪神住吉の居酒屋魚菜・おか田にて元気なおじさんたち15人の参加を得て開催。

いつも通りの近況報告であったが、なかなかユニークな人生を送っている会員を紹介する。



K君は今から海外で語学研修、ボランティアで外国人相手の観光ガイドをやってみよう。I君は定年後も働き続け、やつと来年の3月で退職することになり、夫婦でキャンピングカーにて日本一周をしたい。Y君は海外旅行（ネパール）を計画、普段はゴルフ三昧の毎日だが、H君は陶芸に興味を抱き、当日出席者全員がぐい呑みをいただいた。

しかし会員の中には体調を崩しているものが増え少し心配なところもある。いや93歳まで頑張ろう。（三九会の内規「93歳で解散」）

何れにしても、来年は三九会設立30年、卒業50年という節目の年、全員で元気で集まろう。

（事務局 石山康弘）

ハッピーリタイヤ盛會に サンケイビルの北村さん

いま世界にときめく中村健吾のベースが鮮烈な低音を響かす。白崎彩子の指がピアノに舞う。華麗なジャズのライブでパーティが開幕した。

これは「北村公宏さんと『そよ風を楽しむ会』」で10月3日、大阪市北区のサンケイプラザ小ホールで開かれた。

校友の北村公宏さん（昭32学法）が、サンケイビルをリタイヤされるのを記念してのパーティで、葦文会の渡部基義会長が中心となって呼びかけたところ約140人も有志が集まった。

北村さんは在学中の1955年に校友会委員長に選ばれて関大に新風を吹き込み、卒業後はサンケイホールに勤め文化の興隆に尽くすなど、その功績は高










■正規取扱メーカー／ロータスカーズ、ケータハム、モーガン、アルファロメオ、フィアット、シトロエン
 <その他取り扱い車種>メルセデスベンツ、BMW、ボルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、
 ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、プジョー、Mini、その他クラシックカー・欧州車全般

ホームページ最新ニュース<What's New>毎日更新!

JIRON 自動車株式会社

昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司

<http://www.jiron-auto.co.jp>

〒556-0001 大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011
 ●営業時間: (平日) 9:00~19:00 (土・日・祝) 10:00~19:00 年中無休 ※年末年始は除く



く評価されている。

パーティでは、建築家の安藤忠雄さんが「引退などと言わず、生涯大阪の文化を支えていたきたい」と語れば、数中三十三元外務事務次官は「これからモクールオースカ」素晴らしい大阪へ皆の後押しをお願いしたい」と祝辞を述べた。

関淳一元大阪市長の音頭で乾杯。桂米團治師からは「父米朝のアンドロイドは北村さんの発案。素晴らしいのだが管理が大変」とユーモアたっぷりのスピーチがあり、会場は笑顔と称賛で盛り上がった。

校友会関係では古川好男代議員会議長が祝辞を述べたほか、一軸浩幸前会長ら多数の方が出席。各界からは多士済々の出席者に加えて、ソプラノ歌手佐藤しのぶさんらのビデオレターも披露されるなど、祝賀ムードでいっぱい。

最後に北村さんから「今後は、中欧能楽文化協会の評議員としてヨーロッパでの能楽普及のお手伝いをさせてもらう。56年間も勤められたのは皆さんの温かいご支持のおかげ。ありがとうございます」と、お礼の言葉が述べられ、大盛況のうちに幕を閉じた。

なお、このパーティの模様を収めた冊子とDVDが発行される。出席者以外で希望の方は

若干の余裕があるので章文会支部会長（電話090-3283-1816）までご連絡下さい。

い。（衣笠周司）
（三坂友章）0797-85-8031

節目の第70回総会盛大に開催 次世代に向けた新体制など承認

10月12日、大阪新阪急ホテルで応援団OB長柄会（部）（大谷啓二会長）の節目となる第70回総会が、来賓、OB会員、現役チアリーダー・クレアーズの参加で開催された。

総会では、大谷会長を議長として議事を進行、次世代に向けた新しい役員人事や次年度各種事業、活動予算計画が滞りなく承認された。大谷会長からは、女性OB会員の活用を目的とした長柄会女子会構想の提案もあり、今後の執行部が中心となって具体案をまとめることとなった。



続いている懇親会では、若手OBによるフレッシュな司会進行の中、来賓の祝辞をいただいた。

法人からは池内啓三理事長が「一部学生課長当時の懐かしい思い出話から今後の大学の方角性」を話され、教学からは黒田勇副学長・学生センター所長が「二部OBの社会での活躍ぶり」を、そして校友会からは寺内俊太郎会長が「次世代関大の姿を願う魂のこもったお話」等をいただいた。

その他、校友会各支部ならびに友好団体から多くの来賓の方々が出席され、クレアーズ顧問教授である山本英一学長補佐の乾杯発声とともに懐かしの面々との談笑が始まった。

今年で結成5年を迎えたOBバンドの演奏は、朝の連ドラ「あまちゃん」のオープニングで始まり、会場がヒートアップする中、第25代の田中俊夫先輩がOBバンド演奏に合わせて「思い出のサンフランシスコ」を熱唱した。

クレアーズの元氣一杯の演奏では、常日頃頑健な応援団OB

の顔がほころんだ、まさに孫か娘を見る温かい目だ。続いて（比較的若手）リーダー部OBとクレアーズによる演舞演奏では現役時代さながらのリーダーが会場を魅了した。

毎年恒例の豪華商品を取り揃えた富籤抽選会では女性OBの子女に商品が当選し大喜び、会場の熱気は最高潮となった。

フィナーレは我らが関西大学逍遙歌、53代OBの横山君の鮮やかなリーダーのもと来年の再会を約束し、大熱唱のなか幕を閉じた。（幹事48代 岩井康）
（中村司法書士事務所・中村博）06-6705-5678

OB合宿と称して実施 家族連れ等21人が参加

応援団OB長柄会（部）では、昨年から「現役時代を思い出しながら会員相互の親交を深め」かつ「OBバンドの集中練習と大団旗の虫干し」を兼ねて「OB合宿」を実施している。

ただ、現役当時ほどの厳しい練習や恒例であった夜襲などには、体力的に耐えられる状況にはないため、気持ちは「OB合宿」・「されど正式名称は「OB合宿」と称して」としている。

今年は、9月7～8日に滋賀県和邇海岸・日出美荘で実施した。参加者は、家族連れや日帰りを含めて総勢21人。ただ、両



日も雨天であり、外での思うような練習ができなかったのが残念であった。

集まったOB・OGはそれぞれ練習準備をして、OBバンドは10月12日開催の第70回長柄会総会で演奏する曲の最終仕上げに入った。リーダー部は現役時代を思い起こしつつ、周辺のランニング（散歩？）練習に励んだ。

夜は、バーベキュー大会で和気藹々と話が弾み、その後も場所を宿泊部屋に移し、話が途切れる事はなく夜は更けていった。

翌日は、最後の練習の後、流しそつめんなどで子供も大人も昼食を楽しみ、あつと言う間の合宿も終わった。1泊2日の短い期間ではあったが、練習の他に現役当時の思い出話から今後の長柄会の事や人生訓など、多岐に亘る話で浮世のストレスを

吹き飛ばした合宿であった。

(広報部長 奥田照夫)

姫路城で匠の技に感動 美術館では特別講義も

9月1日、女子秀麗会(仁井ひろみ会長)は、第13回楽塾で(ゲスト校友、家族ら36人)バスで姫路へ出かけた。見学施設「天空の白鷺」から、瓦の葺き替えが終わって、壁の漆喰塗りが大詰めの上層を間近に見て、匠の技に感動! 千姫ゆかりの「西の丸」も駆け足で巡った。

「好古園」内「活水軒」で、あなご天ぷら「姫御膳」をいただき、萩咲き、白鷺舞い降りる風情あるお庭を散策。

午後は、赤レンガの姫路市立美術館へ。学芸員の方から「デイク・ブルーナに学ぶモダンアートの楽しみ方」という特別講義を受け、館長さんの案内でブルーナカラーと呼ばれる6色で描かれたミッフィー(うさこちゃん)作品類や絵本の内容に沿って岡本太郎、ロダン等を鑑賞。常設展には、モネ、ピサロ等があり「もつとほかにみえたかったけれど、もつかえるじかんになりました」(絵本「うさこちゃんびじゅつかんへいく」より)

2月9日には篠山(ぼたん鍋、陶芸美術館)を計画しています。是非ご参加ください。



(事業部幹事 石塚敏子・46文)
(仁井ひろみ) 06-6925-1821

北から南から150人 新体制で交流の輪拡大

秀麗寮士会(市場康雄会長)は、10月13日に第20回総会を校友・父母会館で、北海道から沖縄・石垣島の各地から150人が参加して開催した。来賓として校友会の田中義昭副会長らをお迎えし、田中副会長から挨拶をいただき、直接、大学の詳細な近況が聞けた。

続いて、酒井和彦議長(45法)・姥浦宗一副議長(47文)の議事進行により、会務報告、会計報告、監査報告、規約改正が審議のうえ承認され、次期役員も承認された。新体制で今後の3年間、新たな支部の立ち上げなどにより、交流の輪を拡げる活



動をする。

懇親会は、会場を第2学舎の不二家食堂に移して、北沢昌規氏(44文)の司会のもと、寮歌斉唱に続き、大先輩からの近況報告や寮士会の実質的な活動を行っている関東・関西・四国の各支部からの活動状況の報告に熱心に耳を傾けた。

大分から駆けつけた友永正元氏(44経)の、玄人はだしの腹話術や手品に拍手喝采だった。会場はいくつも輪ができて、学生時代を懐かしがり、昔話に花が咲いた。

閉めは恒例の小柳節夫氏(43経)リーダーのもと、逍遙歌で盛り上がり、名残を惜しみながら幕を閉じた。

総会の開催に合わせて、同期会が前日や当日の夜に近隣のホテルなどで開催され親密な交流が図られたようだ。

(市場康雄・昭44法)

(市場康雄) 06-6330-0909

OB現役200余人集つ 各年代8グループが演奏

8月25日、天満橋ドーンセンターでグリークラブOB会、第5回ミュージックパーティを開催した。4年に一度の合唱パーティにOB・現役等、総勢200余人が一同に参集し盛大に執り行われた。

1期卒部から現役67期まで実に60年以上年齢に開きのあるメンバーを、年代ごとに8グループに分け、各グループでのおの時代の思い出の曲を演奏した。お互い切磋琢磨し素晴らし

い出来栄の演奏だった。



る千里エコーと東京のEAST合唱団の演奏に続き、現役グリークラブの素晴らしい演奏を聴き、OB一同感激した。

出席者一人一人が参加し、全員参加型の感動と興奮の合唱パーティだった。改めてグリークラブと出会えた喜びを分かち合い再確認できた瞬間だった。現役の更なる成長を祈願し、再会を誓い合ってお開きとなった。

(OB会理事長 塔筋浩司)

お互いの健康喜び合う 初秋の京都で14回総会

池垣会(西田一郎会長)は、10月13日にホテル京阪京都で第14回総会を開催した。

今回は、ニューフェイス2人に加え10人が出席の下、今春亡くなった佐藤校友に哀悼の意を捧げた後、学歌斉唱に続き予定された議案が全会一致で可決さ





**中国四国校友ゴルフ大会
名門「周南CC」で開催**
9月21日、第4回中国四国地区支部親睦ゴルフ大会を、山口千里会（藤井宏紀会長）の幹事で山口県周南市の名門コース・周南カントリー倶楽部で開催した。

この大会は、九州地区の親睦ゴルフ大会に倣い、花田正利九州連合会長（昭34）が中国地区でも始めたらどうかと並川広島支部長（昭39）に働きかけ実現した。



2部懇親会は、乾杯に続いて出席者全員による近況あれこれ話を聞き、互いの健康を喜び合い大いに盛り上がった。

プラスワン作戦では一条城を訪れ、二の丸御殿、二の丸庭園を散策し初秋の京都を満喫した。その後再びホテル京阪京都でコーヒータイトムを取った後、来年の再開を誓い無事終了した。

（幹事長 森崎修）

たもので、前回まではゴルフ場で表彰式を行いそのまま解散していたが、今回は大先輩福山庸治氏（昭29）がオーナーのホテルザ・グラマシーにおいて懇親会も行った。

今回、山口千里会からの参加が8人に留まったので、花田連合会長に九州地区からの参加をお願いし、多忙の中を6人出席していただいた。

当日は、香川、岡山、備後、広島、福岡、佐賀、山口の各千里会の合計35人がアウト5組、イン4組に別れ、ノータッチによるダブルペリア方式で競技を行った。また、各支部の上位3人による団体戦も合わせて行った。

優勝は、広島支部の沖田博さん（昭49）で、ふく刺セツトを獲得。注目の瀬祭は3位岡山支部の小椋和雄さん（平3）など3人だった。当日賞のふくギフトは山口千里会の上圭司さん（昭43）が獲得した。

団体賞は、1位広島支部、2位岡山支部、3位山口千里会

の順だった。持ち回りの優勝カップは広島支部に授与され、来年は広島支部の引受で開催されることになった。ゴルフ場での行事はすべて終了し、交流会出席者は会場のホテルザ・グラマシーに向かった。

交流会のために、福岡から花田名誉会長、中尾和俊氏（昭49）が、備後支部から濱田宏志支部長（昭40）が参加され、ゴルフにも参加したアサヒビール山口支社の山崎真史氏と今回のコンペの設営いっさいを引き受けていただいた宮本治郎徳山商工会議所副会頭（徳山ビルサービス社長）の総勢34人による交流会が定刻に開会された。

下瀬豊晴副会長の司会による開会の挨拶があり、花田名誉会長の挨拶と乾杯の発声のあとバッキングスタイルによる飲食をとりながら歓談が続いた。山口千里会の紅一点津原さんも登壇し、感想を述べた。会場のオーナーの福山先輩から「瀬祭」の差し入れがあり、徳山の歴史等を話された。

懇親会も終わりに近づき、石井幹事長の首頭で全員が輪になつて道徳歌を合唱して締めくくった。（山口千里会 藤井宏紀）

（北乗吉道）083-986-2626

ご良縁 成婚率の高さが決め手

100%手づくりのお世話®

コンピューターを一切使わず、すべて手づくり100%の誠実なマンツーマンシステムです。また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。ご成婚重視のため、他社との連携は一切いたしておりません。国公立大学・有名私立大学ご出身のご成婚者が大勢いらっしゃいます。

エムロードはここが違います

- | | | |
|--|--|---|
| 1 成婚率の高さ
無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり100%の行き届いたシステム。 | 2 質の高い会員層
国公立・有名私立大学が中心。 | 3 同一アドバイザーによる一貫したお世話
ご入会からご成婚まで、同一のアドバイザーが担当。 |
| 4 自社会員のための構成
成婚率の高さを維持とプライバシーの保護のために他社との提携は一切なし。 | 5 格式あるお見合いパーティー
帝国ホテル・リッツカールトン等、一流ホテルでの会員様だけの集い。 | 6 安心の均一料金システム
どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視の安心料金システム。 |

お問い合わせセンター
営業時間 10:00~18:30
定休日 水曜日

よいふうふ よろしく
0120-4122-46

大阪 NU茶屋町プラス最上階(3101) 神戸 神戸国際会館19F 京都 オフィス・ワン四条烏丸6F

資料請求 無料

- ドクターズコース
- スタンダードコース
- シニアコース 有

株式会社 **エムロード®** Marriage Road

携帯・WEBからも エムロード 結婚

検索

愛宕原で131人が熱戦 サッカー部が団体優勝

体育OB・OG会（女川隆会長）の25年度親睦ゴルフ会が、愛宕原ゴルフ倶楽部で開催され、今年は公務のため池内理事長、寺内会長にご出席いただけなかったが131人が熱戦を繰り広げた。

台風24号が直撃する可能性が大きく、前日決行するか中止にするか難しい判断に迫られたが、小坂体育OB・OG会相談役のGO指令で予定通り決行することにし、各クラブ責任者に連絡して当日を迎えた。

受付開始から雨が降り出し台風の余波で風もあつたので、年長者は体調のことを考えて残念ながらプレーを辞退されたが、当日全員がゴルフ場に顔を出されたのには感激した。ゴルフ場に顔を出さず、電話で簡単にキ



ヤンセルする方が一人もいなかったということは、まさに体育会出身者というスポーツマンシップの精神を見た感じがした。

成績は団体戦、優勝サッカー部、2位野球部、3位ゴルフ部。

個人戦、優勝橋本治三氏（野球部）、2位北野博昭氏（アメリカン）、3位松村二三男氏（サッカー）だった。

スタート時の雨も1時間程度で止み、以降は秋を満喫する絶好のゴルフ日和となり、夫々満足して台風一過家路についた。

（近藤康雄）

（西田幸弘）06-6672-2596

五條市シブレットで開催 河内地区支部対抗コンペ

10月3日にシブレットクラブ（奈良県五條市）で、柏原・富田林・東大阪・平野・松原・河内長野（今回コンペのホスト支部）の各支部校友44人の参加で第58回支部対抗ゴルフコンペを開催した。

コンペは個人・団体戦で腕を競い、個人戦では、至田氏（柏原）が見事優勝され、準優勝北脇氏（河内長野）、3位藤田氏（東大阪）だった。また、ベストグロス賞は藤田氏が獲得された。団体戦は、各支部上位4人のネットスコア合計で競ったが、柏



原支部が至田・高井・岡本・上田氏の活躍で見事優勝された。支部対抗コンペは春・秋の年2回の開催で、近隣支部校友の懇親を深めています。

（河内長野支部 後藤幹雄）

親睦コンペに15支部54人 参加賞は全員に「松茸」

9月5日、大阪市内支部連合会（田中義信会長）第6回親睦ゴルフコンペが、ゴルフクラブ四条畷で、大阪市内15支部から54人が参加して開催された。

表彰式は、前回優勝の旭支部・首藤俊二支部長の司会ではじまり、田中会長は「2月の総会には約160人の参加があり、当連合会も活性化されてきたので、なお一層、一丸となつ

て校友会本部を支えて行きましよう」と力強く挨拶された。

競技は、ダブルペリア方式で争われ、団体優勝は昨年に引き続き旭支部、準優勝は大阪中央支部。また個人戦での優勝は、首藤俊二氏、準優勝は杉谷好広氏（大阪中央支部）であった。

団体優勝支部には、市内支部連合会からクリスタルカップが、個人戦優勝者には、上原洋允前理事長寄贈のトロフィーと、それぞれお米、お肉、果物などの副賞が贈呈された。そして、参加者全員に秋の味覚「松茸」が贈られ、「まるで優勝したみたいだ」との歓声が上がった。

最後に、担当幹事である宮腰健次福島支部長の指揮で、逍遙歌を合唱、友情を高めた。



THINK PRINTING

印刷する会社から印刷を考える会社へ

東洋紙業高速印刷株式会社

〈本社〉〒556-0029 大阪市浪速区芦原2丁目5番56号
TEL 06(6567)0511(代) FAX 06(6567)1539

広島営業所/九州営業所



今回は、26年9月3日（水）、同ゴルフ場での開催を予定している。
（旭支部 首藤俊二）

成岡幹事長が優勝飾る 女性2人が2・3位に

吹田支部（奥谷英夫支部長）の第44回親睦ゴルフ大会が、10月6日に大阪府能勢町のアートルイクゴルフ倶楽部で開催され、女性2人を含む14人が参加した。

同ゴルフ場は、吹田方面から交通渋滞の心配もなく、また、参加者の中にもメンバーが多いため、22年の歴史を誇る大会でも、最近をよく会場として使用されている。
コースでは、すすきの穂や僅

かに色づき始めた桜葉などが秋の気配を感じさせたが、当日は季節外れの真夏日となり、全員汗だくのプレー。それでも3連ちゃんの猛者から久し振りの人まで和気藹々でゴルフを楽しんだ。

プレー終了後、コンペルームで表彰式が行われ、藤原輝之ゴルフ委員長から10年以上振りの優勝を飾った成岡昭二幹事長ほか入賞者に、恒例の高級海産物の賞品が手渡された。

なお、2位は前回に続き藤原夏江氏、3位は石岡映子氏と2人の参加女性が獲得した。

（幹事長 成岡昭二）
（奥谷英夫 〃 06—6836—6870）

難しい設定に四苦八苦 栄冠は大倉幾三郎氏に

経済人クラブ（栗原照次郎会長）秋のゴルフコンペが、名門茨木カンツリー倶楽部西コースで10月10日に12人参加で開催された。

当日は晴天で絶好のコンディションであったが、1週間前にはプロツアーのパナソニックオープンが開催されたコースで、深いラフ、アンジュレーションの効いた高速グリーン、絶妙な位置に設置されたハザード、難しいピンポジションに参加者の多くが苦しめられた。



優勝は大倉幾三郎、2位は福本永成、3位は村上康司の各氏であった。その後、ゴルフ部会会長の大倉幾三郎氏の進行で表彰式が行われ、参加者はゴルフを通じて交流を図り、楽しいコンペになった。

なお、今回の様子はホームページにも掲載されている。次回は3月26日に茨木カンツリーで開催予定。皆様の参加をお待ちしています。問い合わせは、ゴルフ部会幹事・志水利達まで。

（副代表幹事 村上康司）
（関西大学校友会気付 〃 06—6368—0041）



校友トピックス

式年遷宮「遷御の儀」 寺内会長が外宮で参列

伊勢神宮の第62回式年遷宮で大祭となる、完成した新正殿にご神体を移す「遷御（せんぎょ）の儀」が、内宮で10月2日に、外宮で10月5日に執り行われた。

寺内俊太郎校友会長（昭46D工）は、特別名誉崇敬会員として5日の外宮の「遷御の儀」に招待され、新正殿の御垣内に設営された東幄内で、全国各地の神社から選ばれた神官と崇敬会員400人の一人として参列した。

「遷御の儀」は、照明が消された浄間の中、午後6時から始ま

り、太玉串行事などを経て、正殿へ。読み上げられる召立文（めしたてぶん）に従って御装束や神宝を神職たちが捧げ持ち、並ぶ。

天の岩戸の故事に倣い鶏鳴所役が「カケロー」と3声唱え（内宮では、カケコー）、午後8時、天皇の勅使が「出御（しゅつぎょ）」と3度唱えるのを合図にご神体は正殿を出て、新正殿へ。

雅楽の演奏の中、白い絹垣（きんがい）に囲われた内側を、ご神体を神職らが奉載し、ゆるやかな足どりで新正殿へ向かい、ご神体为新正殿に入った後、御装束神宝も納められ、扉が閉じられて、午後9時過ぎに終了した。

厳かに行われた神事に参列した寺内会長は、「この国に生を受け、恵まれた精神構造の中で成長して、活躍できた者として国事である遷御の儀に参加できた喜びで一杯です」と感想を述べていた。

なお、寺内会長は、30を超える遷宮行事の内、平成23年11月の宇治橋渡始式と24年3月の上棟祭にも参列している。

来年の卓上曆2種類 写真作家の内藤氏発表

写真部OBで、長年、日本の



山野草や風景を撮り続け、詩情性豊かな卓上カレンダーとして発表している写真作家の内藤稜児氏（昭29学法）が、2014年の作品2種類を発表した。

風景を中心とした横長の12枚組（表紙を含め14枚で、2014年の題は『日本の灯台』）とほぼ正方形の日本の山野草12枚組（同13枚、『山野の草雅』）の2種類。題字はいずれも当麻寺・宗胤院住職の宮下寛昇氏（昭42学法）。

前に「孤高にして凜然たる」の副題が付く『日本の灯台』は、内藤氏がカレンダーとしてまとめたかったテーマの一つで、「自分でも綺麗にできたと思います」という自信作。表紙の次には「残波岬」と題する沖縄本島の灯台の写真の左右に「灯台よ魂に鮮光を 海洋日本に未来を 人類

に夢と希望を 平和の灯を世界に」と、シャッターを切りながら灯台に祈った内藤氏の心情が記されている。以降、1月の雪に閉ざされた網走海岸の日の出を迎えた灯台「遙光」から、12月の冬の荒波が打ち寄せる奥丹後半島の灯台「烈風日本海」まで、日本各地の四季折々の灯台の姿が斬新なアングルで切り取られている。

『山野の草雅』は、白い5弁から蔓を延ばしたような独特の形をした「カラスウリの花」の表紙写真ほか、4月の岩肌からピンク色の花を咲かせ、見て力強さを湧かせる「ユキワリゴザクラ」、12月の霜に打たれて枯れかけの、決して綺麗とはいえない「ノジギク」など、いずれも、山野草が育つ自然環境に眼を向け、心を開く、そんな一時を大切に。人間社会が自然を支配し、自然破壊を助長しては未来はない」といつ氏の思いが伝わってくる。

なお、2種類とも裏面には、六曜や祝日も入れたその月の実用カレンダーを印刷。予定や簡単なメモも記入できるようになっている。

問い合わせ、花の情報提供は、光稜テクノアート主宰の内藤氏（電話0900-1107415435、FAX06-4255-9112）まで。

西村眼鏡店百周年 記念写真集を出版

西支部支部長を務める西村輝和氏（昭49学商）の会社、（有）西村眼鏡店が昨年8月に創業100周年を迎え、8月5日には大阪リーガロイヤルホテルで記念式典を開催した。

1年を経て、同店の歴史を物語る貴重な写真と記念式典の写真を掲載した記念誌、西村眼鏡店100年のあゆみ」が、このほど出版された。

創業当時のことが分かったのは、数年前自宅の道具を整理していた際、古い帳簿が出てきたことから。表紙には、開店記録簿 大正元年八月吉日」の文字があり、「資料などを調べていくうちに、当時の仕入れ状況や資金繰りも分かってきた」とのこと。

同店は、大正元年（1912年）8月7日に、初代西村孝次郎氏が大阪市北区堂島1丁目54番地で創業。高い技術を買われ、近くにあった阪大病院眼科教室にも出入りして医師から信



頼を得ていたことが、大阪大学医学部眼科教室開講100周年記念誌にも記載されている。

その他、2代茂氏の「結婚記録」、「応召記録」や写真、3代目現社長の輝和氏と佳子夫人の写真、経営する中之島ダイビル店、阪大病院前店、近大病院前店の3店舗などが紹介されている。後半は記念式典の様子を詳しく掲載。

大阪の中心部で眼鏡一筋1世紀。西村社長は「今後も一つ一つ積み重ね、200周年を目指したい」と抱負を語っている。

校友短信

環境副大臣に北川知克氏
就任 9月30日付。北川知克氏（きたがわ・ともかつ）昭45一高・49学法）は、自民党副幹事長、環境政務官等を歴任。衆議院大阪12区、自民現・当選4回。61歳。

海賊対処特別委員長に谷畑孝氏就任 10月15日付。谷畑孝氏（たにはた・たかし）昭45学法）は、厚生労働副大臣、衆議院決算行政監視委員長等を歴任。衆議院大阪14区・日本維新の会

現・当選6回、参議院当選1回。66歳。

香川県琴平町副町長に豊田泰志氏就任 10月1日付。豊田泰志氏（とよた・やすし）昭55学工）は、昭和55年琴平町に入り、健康推進課長、総務課長等を歴任し、平成25年3月に退職していた。56歳。

ウエスティンホテル大阪代表取締役社長に北垣弘氏就任 9月30日付。北垣弘氏（きたがき・ひろし）昭60学法）は、りそな銀行出身で52歳。

新刊



紹介

『歌人日誌 その四』
上田 明(昭39学商)著
(株)文芸社刊
定価1050円(税込)



平成の狂歌を詠み続けている異色の歌人が、2012年4月から翌年3月までの作品を精選した第四集である。

「国保証受け取り見れば『高齢』とグサリと刺さるシルバリーとて欲し」

「苦あらば酔いに逃げ込む吾あわれ小心者と笑わば笑え」

「むかつけばむかつくまにうれしくばうれしきまに詠うが歌なり」

時に食を楽しむ、時に酒を呷り、時に政治に怒り、日々、自らの気持ちをごぼれるまま

に詠うが、東日本大震災、原発事故への心痛や憂いは続き「白骨だけがやたらと目立つぼろ牛舎服着せし子牛も亡骸となり」

「早二年染みつきし傷癒えがたし再起は無理と歳覚えぬる」

と、重く痛ましく響く。

そして本書の白眉は、歌という人生の切片を重ねる日々の中で、さらに深みを増して生のありようを見据える作者の眼差しだろ。

「短きは線香花火の美しき煙残して闇に消えぬる」

「鑑みてすべては己に帰すべきと恨みしことの浅はかさ知る」

「衰えを越えて口出る感謝歌身はやつれても心は燦爛」

穏やかな日々の営みだが、一日として同じ日はなく、同じ経験も感情もない。過ぎゆく季節の中に身を置き、時にしみじみ老いを感じながら、様々な思いと願いを三十一文字に託す歌人の、確かな生の刻印である。

(文芸社刊第一編集部 秦順子)

お悔み申し上げます

五十嵐武氏(いがらし・たけし)昭38学文)2月11日死去。73歳。大東市。

山本光雄氏(やまもと・みつお)昭18専1経・26学2商、税理士、校友会代議員、関大(一八代会代表)4月16日死去。91歳。堺市。

堀野廣次氏(ほりの・ひろじ)昭18大予2・24大法)5月13日死去。88歳。高島市。

片岡晟好氏(かたおか・あきよし)昭39学2文、ユウキ(有)役員、元校友会代議員)8月7日死去。75歳。神戸市。

田中一郎氏(たなか・いちろう)昭13大予2・16大経、元法人評議員、元関西大学企画室長、元大阪女子学園常務理事、校友会代議員、十六代会代表)8月15日死去。95歳。大阪府豊能町。

田畑 修氏(たはた・おさむ)昭28学商、西大和開発常務取締役、元校友会代議員)8月17日死去。83歳。枚方市。

島田弥彦氏(しまだ・やひこ)旧姓伊藤、昭16専1商・18大商、島田油業代表取締役会長)8月19日死去。92歳。神戸市。

齊岡貞夫氏(さいおか・さだお)昭30短大1・32学法、税理士・斉岡税理士事務所)8月23日死去。78歳。吹田市。

谷 正昭氏(たに・まさあき)昭30学経、徳永自動車取締役会長)8月30日死去。81歳。守口市。

吉田克彦氏(よしだ・かつひ

こ)昭31学経、住之江不動産代表取締役会長)8月30日死去。80歳。大阪狭山市。

吉田芳夫氏(よしだ・よしお)旧姓中村、昭20関甲)9月1日死去。88歳。鈴鹿市。

栗井博三氏(あらい・ひろみ)昭27学法)9月7日死去。85歳。河内長野市。

建部 進氏(たてべ・すすむ)昭26工専・28学商、建部工業代表取締役会長、元校友会代議員、元東播支部長)9月21日死去。85歳。加古川市。

中村誠伺氏(なかむら・せいじ)昭41学法、元京都市下京区長)9月23日死去。73歳。野洲市。

片山久江氏(かたやま・ひさえ)旧姓加島、昭44学法、弁護士・片山法律事務所、法人理事・評議員、校友会参与)9月25日死去。69歳。大阪市。



昭和47年に司法試験合格、50年から弁護士。弁護士会では弁護士協同組合の理事長を平成15年から4期務めた。また、大阪家庭裁判所の調停委員を平成元年から務めており、他に大阪市教育委員、大阪府労働委員会公益委員等も歴任。

校友会関係では、昭和54年から常議員を務め、平成12年事業部長、15年総務部長、18年総務担当副会長、21年監事の後、25年3月参与に就任。

大学関係では、平成4年から学校法人関西大学評議員となり、16年理事に就任、現在まで務めていた。

校友会組織関係では、関大法曹会副幹事を長く務め、平成2年、15年女子秀麗会第3代会長、その後顧問。大阪中央支部相談役など。

前田初枝氏(まえだ・はつえ)元関西大学広報課長)10月6日死去。88歳。西宮市。

田中 茂氏(たなか・しげる)元工学部教授)10月13日死去。98歳。神戸市。

上田誠治氏(うえだ・せいじ)昭35学2商)10月15日死去。79歳。大阪市。

稲田 実氏(いなだ・みのる)昭32学2経、元門真市議会議員)10月16日死去。78歳。門真市。

四宮貞男氏(しのみや・さだお)昭36学法、四宮住建代表・一級建築士、校友会代議員、前東淀川支部長)10月23日死去。75歳。大阪市。

玉柏ちづる氏(たまかし・ちづる)昭45学法、元法務省和歌山保護観察所所長、大阪家事調停委員、校友会代議員、平野支部副支部長)10月24日死去。65歳。大阪市。

前田 正氏(まえだ・ただし)昭40一高・44学工、元衆議院議員、前北支部長、元校友会代議員)10月28日死去。66歳。大阪市。

平成2年衆院選で自民党公認で初当選。その後、新進党、改革クラブに移り2期務めた。市川浩平氏(いちかわ・こうへい)昭39学経・41M経・44D経、名誉教授・元経済学部教授、専門は流通経済論10月29日死去。71歳。名張市。

【本部関係】

平成26年校友会新年互礼会 26年1月15日(水) 18:00 大阪新阪急ホテル
第102回定時代議員会 3月29日(土) 13:00 100周年記念会館

【地域支部】

貝塚支部総会 11月24日(日) 11:00 貝塚市市民福祉センター・4階中会議室(岡本俊彦=072-431-3547)
河内地区親善対抗ボウリング大会 11月24日(日) 14:30 近鉄八尾駅前・Bow123(八尾市部・中尾達夫=072-998-3526)
奈良県関大倶楽部総会 11月24日(日) 17:00 ホテル日航奈良(薬師寺・山田法胤管主の特別講演を予定。森川育明=0743-74-3939)
滋賀支部草津・栗東・守山地区役員懇談会 11月30日(土) 時間未定 ホテルブルーワールド草津(佃司法書士事務所=077-522-2961)
山口千里会総会 12月7日(土) 18:30 新山口駅前・山口グランドホテル(北乗吉道=0839-86-2626)
住吉支部再建20周年総会 平成26年1月13日(祝) 11:00 住吉大社・吉祥殿(小林洋司=06-6673-9063)
猪名川支部総会 1月18日(土) 12:00 まんか旅館(南隆志=072-768-0853)
九州地区支部連合会・幹事長研修会 1月18日(土) 14:00 福岡市天神・平和楼本店(花田正利=092-935-3108)
福岡千里会新年懇談会 1月18日(土) 18:00 福岡市天神・平和楼本店(安藤造園土木・白木成光=092-841-4141)
神戸支部新年互礼会 1月18日(土) 16:00 神戸東急イン(6,000円。FAX=078-453-2171、kuaakobe1956@gmail.com、ホームページ、フェイスブックからも申し込み可)
岡山支部第56回新年会 1月18日(土) 18:00 岡山市・アークホテル(ユアーズコンサルティング=086-250-5592)
三田支部総会 1月24日(金) 18:00 三田ホテル(今垣享=079-563-5578)
河内近隣支部新年互例会 1月25日(土) イベントコース 天野酒蔵見学→懇親会(河内長野市文化会館・ラプリーホール) 高野街道の名所旧跡散策→懇親会、高野街道の名所旧跡散策と天野酒蔵見学→懇親会、懇親会のみ(参加登録料7,000円。河内長野支部、かとう法律事務所・加藤安宏=06-6311-2235、藤井寺支部、技建設計・本間敏司=090-3274-3431)
愛媛支部総会 1月25日(土) 18:00 松山市・いよ

てつ会館クリスタルホール(稲荷和重=089-956-1869)

千葉支部新春総会 2月1日(土) 16:30 JR市川駅北口・市川グランドホテル(神田万久=047-354-2091)

芦屋支部総会 2月1日(土) 17:30 JR芦屋駅北・ホテル竹園芦屋(依藤健史=0797-23-7004)

宝塚支部地域連携事業「第4回葦水寄席」 2月11日(祝) 13:30 宝塚商工会議所会議室(塚本壽一=0797-85-1491)

東京支部新年総会 2月15日(土) 時間・場所未定(パソナ監査役・堺精一=03-6734-1015)

大阪市内支部連合会総会 2月18日(火) 18:00 ホテルニューオータニ大阪(田中義信法律事務所=06-6316-0348)

神奈川支部新年総会 2月22日(土) 13:00 中国料理東天紅・横浜店(ダイケイ=050-1063-9660)

【職域会ほか団体】

関大チエリクラブ総会 11月22日(金) 18:00 ホテル阪神 講演・航空自衛隊幹部学校長兼目黒基地司令 尾上定正空将、「我が国防衛の現状と課題」、ミスタートラのタイガース秘話&阪神タイガースグッズ等抽選会(10,000円、家族8,000円。宮腰健次=080-5707-8212、西岡山清一郎=090-3059-6548)

経済人クラブ創立50周年記念第200回例会 11月26日(火) 18:00 ホテル阪急インターナショナル 基調講演・フリーアナウンサー宮根誠司氏(昭62学経済)(10,000円。校友会事務局=06-6368-0041)

関大学部27年会総会 11月27日(水) 16:00 肥後橋・徐園(畑下公認会計士事務所=06-6773-3871)

関大大阪倶楽部創立100周年記念総会 11月30日(土) 8:45 太融寺北側集合、京都方面・リーガロイヤルホテル京都で京舞鑑賞(13,000円。校友会事務局=06-6368-0041)

吟詩部創立80周年・再発足60周年記念吟詠発表大会 11月30日(土) 13:00 千里山キャンパス・KUSシンフォニーホール(式典、記念講演=顧問の長谷部剛文学部教授「関西大学と漢詩の伝統」、現役・OBの吟詠発表。入場無料)終了後、凜風館2階で懇親会を開催。

公認会計士試験合格者祝賀会 12月21日(土) 18:30 大阪新阪急ホテル(山田拓幸公認会計士事務所=06-6605-8101)

東京経済人倶楽部総会・年賀会 平成26年1月21日(火) 18:00 パソナグループ本部(関西大学東京センター=03-3211-1670)

関西大学出版部 刊行図書案内 (価格税込)



小学校算数科で利用されてきた具体物
—子どものインフォーマルな知識および方略に与える影響—
石井康博 著 1680円
算数科具体物によって引き出されるものとは



17世紀フランス文法家証言集Ⅲ
—副詞—
伊藤誠宏 著 3570円
近代フランス語の形成過程を窺う書



存在・感情・政治
—スピノザへの政治心理学的接近—
河村 厚 著 3885円
スピノザ思想を現実主義の観点から考察する



人工シルクの女の子
I・コイン 著
柏木貴久子 訳 2940円
ワイマール時代のポップ小説! 本邦初訳



英語語法学をめざして
奥田隆一 著 3360円
英語の語法を体系的にとらえ直す初の試み



ヘンリー・ジェームズ短編選集
—「オズボーンの復讐」他四編—
李 春喜 監訳
中村善雄・村尾純子 共訳 1785円
本邦初訳 ヘンリー・ジェームズ短編翻訳選集



関西大学東西学術研究所 研究叢刊42
日本と琉球の歴史景観と地理思想
高橋誠一 著 5775円
日本と琉球の歴史景観に潜む地理思想を分析



関西大学東西学術研究所 訳注シリーズ16
聖なるものをめぐる哲学
ミルチャ・エリアーデ
平田 渡 訳 3570円
エリアーデの思想と方法論をめぐる学問史



関西大学東西学術研究所 資料集刊27-2
家礼文献集成 日本篇二
吾妻重二 編著 4410円
「大和家礼」の全文を翻刻し、解説をつける



関西大学東西学術研究所 資料集刊33
大正癸丑蘭亭会への懐古と継承
—関西大学図書館内藤文庫所蔵品を中心に—
陶 徳民 編 6930円
1913年京都蘭亭会関連文庫と画像の集成



中小企業再生の道
—東大阪30年歩いて見たもの—
大西正曹 著 3150円
まいど教授の30年に及ぶ中小企業探訪記



Audience Participation in Politics
池田佳子 著 2100円
現代の政治コミュニケーションの会話分析本



大島鎌吉というスポーツ思想
—脱近代化の身体文化論—
伴 義孝 著 5775円
スポーツで何ができるのか / 生命原理の展望



国家刑罰
—その意義と目的—
飯島 暢・川口浩一 共訳 1890円
ヤコブス刑法論の根幹をなす刑罰理論の翻訳



アジアの民間信仰と文化交渉
二階堂善弘 著 (在庫僅少) 2100円
アジアに広がる中華系の神々の信仰を探る



中国文学史新著 (増訂本) 中巻
井上泰山・後藤裕也 共訳 7035円
中国の英知を結集した未曾有の中国文学通史



関西大学東西学術研究所 研究叢刊43
日本を愛したドイツ人
フリッツ・ルンプと伊勢物語版本
山本登朗 編著 4200円
異色のドイツ人学者・芸術家の業績とその生涯



関西大学東西学術研究所 訳注シリーズ15
マニフェスト
—ダダからクレアシオニスムへ—
鼓 宗 訳 2625円
ラテンアメリカからパリへ 前衛主義の詩学



関西大学東西学術研究所 資料集刊29-2
泊園文庫印譜集
—泊園書院資料集成二—
吾妻重二 編著 6300円
関西大学「泊園文庫」の篆刻をすべて紹介



関西大学東西学術研究所 国際共同研究シリーズ10
戦争の記録と表象
—日本・アジア・ヨーロッパ—
増田周子 編著 3360円
日本・アジア・ヨーロッパの戦争の記録と表象

ホームページ上からでも刊行図書をご注文できます (下記アドレス参照)

ご注文は、お近くの書店または下記まで (図書目録進呈)

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL 06-6368-0238 FAX 06-6389-5162 <http://www.kansai-u.ac.jp/Syppan/index.php>

(株)ブライダルは
関西大学校友の皆様の
「結婚」を応援します。



結婚

36年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも『結婚』という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に関西大学校友の皆様には平成16年より「関大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「関大」を見たとおっしゃってくだされば、校友の皆様はもとより、ご家族の方でも特別に、「結婚」を特典付(登録料50%OFF)にてお世話させていただきます。

関大コース

登録料

50%OFF

ブライダルコース
¥220,500 ▶ ¥204,750 etc.

エクセレントコース
¥378,000 ▶ ¥362,250 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

株式会社ブライダルの詳しい情報はホームページをご覧ください。
詳しくは(株)ブライダルと検索してください。

(株)ブライダル

検索

お問い合わせ
(月曜定休)



0120-415-412

ホームページ
携帯サイト

<http://www.bridal-vip.co.jp>

<http://www.bridal-vip.net/m/>



右のQRコードにて携帯サイトにアクセスできます。(一部対応しない機種がございます。)



36年の実績
株式会社

ブライダル

名古屋本社

〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network / 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪